

神話の夢舞台  
**出雲**  
IZUMO

新たな出雲の國づくり計画  
**出雲未来図**



# 出雲市民憲章 出雲市民の誓い

豊かな自然と歴史に育まれた 神話のふるさと出雲の國  
わたしたちは 出雲を愛し 自然と歴史文化を受け継ぎ 後世に伝え  
夢と希望をもって 未来へ羽ばたく出雲を創造するため  
ここに市民憲章を定めます



## 世界に誇る「環境のまち」をつくります

自然を守り、美しく清らかな心を大切にする環境のまち出雲



## 世界に誇る「健康のまち」をつくります

平和を愛し、安心で生命（いのち）輝く健康のまち出雲



## 世界に誇る「教育のまち」をつくります

学びの志（こころざし）をいだき、ひとりひとりの夢を実現する教育のまち出雲



## 世界に誇る「文化のまち」をつくります

歴史と伝統を尊（とうと）び、未来を創造する文化のまち出雲



## 世界に誇る「産業のまち」をつくります

働く喜びをもち、地域を支え豊かにする産業のまち出雲

平成18年3月17日議決

## げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲をめざして

平成17年3月に合併して誕生した新出雲市が、新たな歩みを始めてまもなく9年を迎えようとしています。平成23年10月には、長年の懸案であった斐川町と合併し、人口約17万5千人の山陰で3番目の都市となりました。

今、日本は、高齢化・少子化に加え、人口減少社会の到来という戦後最大の転換期を迎えてます。平成23年3月に発生した東日本大震災と、これに伴って発生した原子力発電所事故により、暮らしの安全、安心への関心が高まっています。また、世界的な経済危機や地球温暖化などの環境問題、高度情報化の進展など、グローバルな社会変化が私たちの生活にも大きな影響を与える時代となりました。

本市は、合併前の都市基盤整備に併せ、合併後には旧市町からの継続事業や教育施設、新庁舎の整備など、積極的な社会資本整備に取り組みました。しかしながら、市の借入金の返済や増加し続ける社会保障関係費などが市の財政運営を圧迫し、このままでは安定的な市政運営に大きな支障が出る恐れがあります。

このような厳しい状況を開拓し、将来の出雲市を担う若い世代や子どもたちに責任を持って引き継いでいくために、中長期的な展望を見据えた中で、思い切った行財政改革を進め、財政の健全化による持続可能な市政運営に転換しなければなりません。そして、本市の恵まれた歴史、文化、産業など極めて高い潜在力を生かしたまちづくりの方向性を明確にし、その実現をめざして市民の皆さまと力を合わせ取り組むことが求められています。

そこで、今後10年間の新たな総合振興計画を策定するため、30人の委員からなる総合計画審議会に諮問し、様々な市民の皆さまの意見を承りながら、新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」として答申をいただきました。

この基本構想は、「市民が主役のまちづくり」、「地域特性が光るまちづくり」、「自立するまちづくり」の3つの基本理念のもと、まちづくりの将来像として、『げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲』の実現をめざしています。将来像実現への基本方策となる6つの柱を掲げ、施策の着実な実施を図るとともに、すべての分野で行財政改革の推進を図ることを定めています。

この将来像の実現を図るため、すべての市民が力を結集し、様々な「変化」に対する新たな視点や発想を持って課題の解決に当たらなければなりません。市民の皆さまのご理解とご協力を、心からお願い申しあげます。

終わりに、この基本構想の策定にあたり、出雲市総合計画審議会の委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見を賜りました地域協議会や多くの市民の皆さまに対しまして、深く感謝を申しあげます。



出雲市長  
**長岡秀人**

## 目 次

出雲市民憲章(出雲市民の誓い) .....	1
市長あいさつ .....	2
目 次 .....	3
<b>基本構想</b>	
I. 総合振興計画について .....	5
■ 策定の趣旨    ■ 基本理念	
■ 目標年度    ■ 構 成	
II. 出雲市をとりまく時代背景 .....	8
III. 出雲市の地域特性 .....	12
IV. 市民満足度調査の結果 .....	14
V. 出雲市の主要な課題 .....	15
VI. 出雲市の将来像 .....	16
■ まちづくりの将来像	
■ 将来像実現への基本方策	
安全・安心都市の創造 .....	17
産業・観光都市の創造 .....	19
環境・文化都市の創造 .....	21
交流拠点都市の創造 .....	23
健康・福祉都市の創造 .....	25
人材育成都市の創造 .....	27

---

■ 行財政改革の推進 .....	29
★出雲市の市章、市の木、市の花、四季の花 .....	30
■ 平成33年(2021)の目標〈人口・交流人口〉 .....	31
■ 土地利用の基本指針 .....	33
★みんなで描こう「未来の出雲」「大好きな出雲」図画コンクール入賞作品 .....	35

## 戦略プロジェクト

雇用創出2,000人プロジェクト .....	37
定住人口キープ17万人プロジェクト .....	40
交流人口1,000万人プロジェクト .....	43
住みやすさNo.1プロジェクト .....	46

## 地域別のまちづくり像

■ 地域別のまちづくり像 .....	51
★みんなで描こう「未来の出雲」「大好きな出雲」図画コンクール応募作品集 .....	53

## 資料

市民満足度調査集計結果 .....	55
まちづくり高校生アンケート集計結果 .....	62
各種計画一覧 .....	67
統計データ .....	71
質問書・答申書 .....	75
新たな出雲市総合振興計画「出雲未来図」策定経過 .....	76
出雲市総合計画審議会委員名簿 .....	77
出雲市総合計画推進本部名簿(ほか) .....	78



# I

## 総合振興計画について

### ■ 策定の趣旨

本市は、平成17年(2005)3月、出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町が新設合併し、新出雲市のまちづくりの指針として、総合計画「21世紀出雲のグランドデザイン」を策定し、各種施策、事業を積極的に実施するとともに社会資本整備に力を注いきました。

平成23年(2011)10月には、斐川町の編入合併により、人口17万5千人、624.13km<sup>2</sup>の市域と多様で恵まれた自然環境、交通基盤、産業、医療・福祉基盤などを有する極めて高い発展性のある新たな出雲市が誕生しました。

この間、本市をとりまく状況は、積極投資による起債(借金)残高の急激な増加などにより財政状況は非常に厳しく、これまで以上に行財政改革への取り組みを進めていく必要に迫られています。さらに平成23年3月に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故を目の当たりにし、市民の安全を守るための施策の再構築を迫られることになりました。同時に、少子化・高齢化に加え、人口減少という大きな波が本市にも容赦なく迫ってきており、これまでの社会資本整備を中心とした路線を大きく転換した、多様化する市民意識に対応できる新しいまちづくりの方向性を示す羅針盤が必要になってきました。

このような状況の中、斐川町との合併後10年を見据え作成した「出雲市・斐川町新市基本計画」を基本とし、次に掲げる基本理念のもと、これからのお出雲市がめざすべき将来の姿と、それを実現するための基本方策と戦略プロジェクトを示す、新しい出雲の國づくり計画「出雲未来図」を策定しました。

## ■ 基本理念

すべての市民がこの計画を推進していくための基本となる考え方です。



## ■目標年度

平成24年度(2012)を初年度とし、平成33年度(2021)を目標年度とする今後10年間の本市の発展方向を示す計画です。

## ■構 成

基本構想、基本計画、実施計画の3層構造

### 基本構想 [計画期間10年] 新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」

- 基本構想は、10年後の出雲市のめざすべきまちづくりの将来像を示しています。
- 出雲市の現状(時代背景、地域特性、市民満足度調査の結果、課題)をもとに、まちづくりの将来像、将来像実現への基本方策、行財政改革の推進、目標人口、目標交流人口、土地利用の基本指針で構成しています。
- 議会の議決を経て定めます。

### 戦略プロジェクト

戦略プロジェクトは、基本構想で示すまちづくりの将来像を実現するため、特に重点的に取り組む施策、事業を4つのテーマに分けて示しています。

### 基本計画（前期、後期） [計画期間5年]

- 基本計画は、基本構想を実現していくための、前期、後期のそれぞれ5年間の各分野の具体的な施策を体系的に示すものです。

### 実施計画（中期財政計画） [計画期間3年]

- 実施計画は、基本計画の実行性を財政的に裏付けるものです。

## 推進フロー

平成24年度  
(2012)

平成28年度  
(2016)

平成33年度  
(2021)

### 基本構想 新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」

### 基本計画(前期)

### 基本計画(後期)

実施計画  
(中期財政計画)

実施計画  
(中期財政計画)

実施計画  
(中期財政計画)

### 毎年度予算

## II

## 出雲市をとりまく時代背景

## (1) 人口減少、少子化、高齢化の進展

我が国は、急速な少子高齢化の進展により人口減少社会を迎えていました。本市の合計特殊出生率は、平成22年(2010)には1.70で、全国平均より高いものの人口増加にはほど遠い現状にあります。背景には、長引く景気の低迷や就職難などの影響により、経済的に不安定であることや、子育てに対する不安感や負担感が増大していることなどが挙げられます。一方、人口に占める高齢者の割合が増える超高齢社会に突入した我が国では、社会保障費は増加し、現役世代の負担が増大しています。

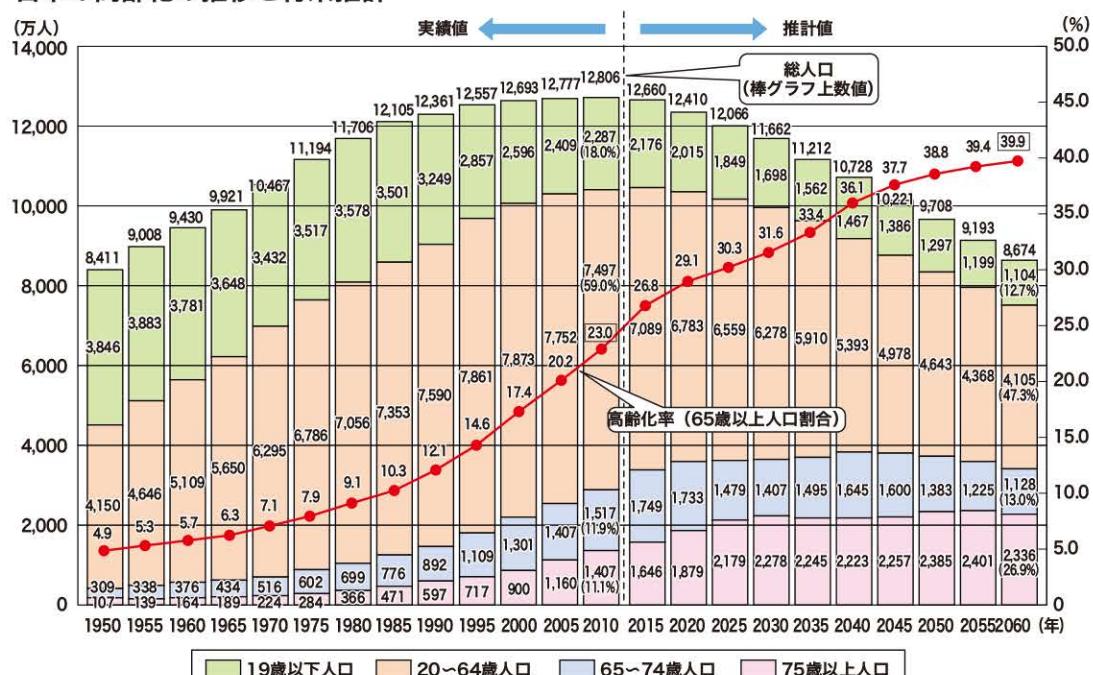
また、集落の共同機能維持が困難な集落(いわゆる\*限界集落と呼ばれる地区)は、本

市では平成23年度(2011)末において3地区ありますが、\*準限界集落と呼ばれる地区が51地区にも上り、その大半が10年後には限界集落となることが予想されています。これは、少子高齢化に併せ過疎化と人口減少が一気に進むことを示しており、自立した地域コミュニティの維持が困難になる恐れがあります。

したがって、現役世代が安心して生活を営み、仕事に励み、消費を行うことができる持続可能な「出雲」の社会基盤を築くためには、全市的な産業支援、各種定住施策、就職支援や子育て支援といった新たな社会保障ニーズにしっかりと対応することが求められています。

\*限界集落とは、65歳以上の人口比が50%を超えて冠婚葬祭など社会的共同生活が困難になった集落のこと。  
\*準限界集落とは、55歳以上の人口比が50%を超えて冠婚葬祭など社会的共同生活が困難になった集落のこと。

日本の高齢化の推移と将来推計



資料)2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果  
(注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む

## (2) 安全・安心社会への関心の高まり

平成23年(2011)3月に発生した国内最大級の東日本大震災では、多くの尊い命が犠牲となりました。震災に伴って発生した福島第一原子力発電所の事故では、放射能汚染による被爆健康問題、農水産物や食品の汚染、土壤汚染など容易に解決しがたい深刻な事態を招きました。

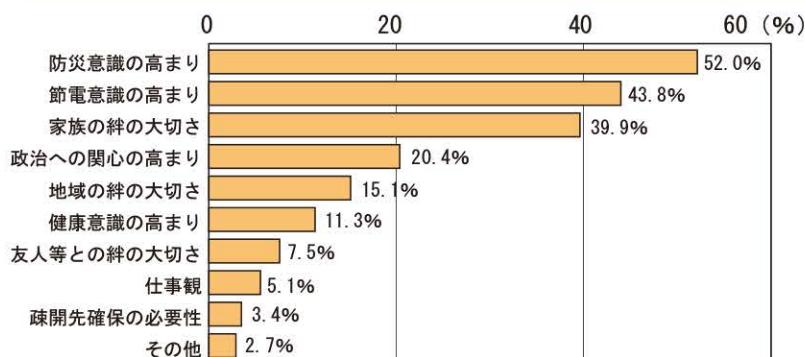
東日本大震災を契機として、大規模地震、津波や原子力災害に対する地域防災計画を見直し、原子力災害避難計画の策定を進め、行政と

市民が一体となった情報の共有と日頃からの訓練を行うことが求められています。原子力発電所の隣接市である本市としては、引き続き中国電力株式会社との「原子力安全協定」の締結を求める必要があります。

また、新エネルギーや省エネルギー施策の推進について積極的に取り組み、安全で安心な地域のエネルギー自給力を高める必要があります。

### 東日本大震災後の考え方の変化

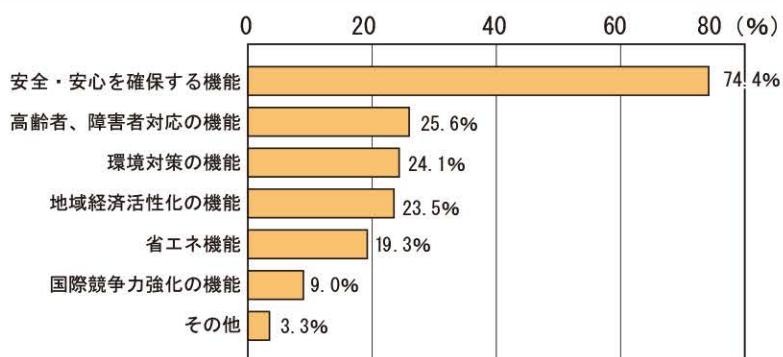
2011年3月に起こった東日本大震災後、あなたの考え方で変わったことは何ですか。  
(3つまで)



資料)国土交通省「国民意識調査」

### 社会资本に求める機能

東日本大震災を踏まえて、あなたが社会资本に求める機能をお知らせください。  
(2つまで)



資料)国土交通省「国民意識調査」

### (3)世界的な経済危機と経済のグローバル化

平成18年(2006)、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、その後のリーマンショックによる世界同時不況へと発展しました。ギリシャの財政危機は、ユーロ圏全体の金融危機を懸念させ、積極的に円が買われたことにより、我が国は歴史的な円高に直面しています。円高株安は我が国の輸出産業の経営を圧迫し、日本経済を足下から揺さぶる深刻な事態となっており、本市の地域経済

においてもその悪影響は計り知れないものがあります。

一方、国においても日本製品の国際的な競争力を高めようと、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)への参加や自由貿易協定(FTA)などが検討されていますが、本市の経済にも影響を及ぼすおそれがあることから、その動向を注視しながら対策を講じることが必要です。

### (4)高度情報化の進展

インターネットやケーブルテレビ網などによる高度情報通信網の整備が進むとともに、携帯電話や多機能型情報端末(スマートフォン、タブレット端末)などの普及により、いつでもどこでも誰でも簡単に、必要な情報を得たり発信することができるようになりました。これにより、世界中の政治、経済、産業構造にも大きな影響を及ぼすとともに、私たちの生活においても、行政と市民、企業などがそれぞれ情報を共有・発信することが容易になりました。

本市においても、効率的で多様かつ広範な情報伝達や情報発信が可能となり、日常的な行政情報発信についても、ツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用など様々な取り組みが期待されています。



※SNSとは、趣味、居住地域、勤務先、出身校などの登録情報をもとにユーザー間の繋がりを形成し、メッセージ送受信、写真や動画の共有などの機能を利用して、多彩なコミュニケーション活動を行うことを目的としたサービスのこと。

## (5)環境問題への関心の高まり

近年、私たちの生活は便利で豊かになった一方、天然資源の消費や過大なごみの排出などの環境負荷を増大させてきました。

地球環境を守り、持続可能な地域社会を構築するためには、科学技術の進歩に期待するだけではなく、私たち一人ひとりの生活様式や社会のシステムを、循環型社会にふさわしい形に転換する努力が求められています。

本市においてもごみの減量化を徹底し、\*3Rの取り組みの推進や、新エネルギーの導入、省エネルギー社会の実現に更に取り組む必要があります。



※3Rとは、循環型社会に向けた廃棄物削減の優先順位を表した言葉で、ごみの発生量を抑制する「Reduce(リデュース)」、使用済みの製品や部品をそのまま使用する「Reuse(リユース)」、原材料や部品を資源として活用する「Recycle(リサイクル)」の頭文字に由来し、この優先順位で廃棄物の削減に努めるべきとされています。

## (6)市民の社会参加意識(ボランティア、NPO)の高まり

地方分権・地域主権の時代を迎え、「地域のことは、地域で考え、決定し、行動しよう」、「市民に身近な課題は自分たちで解決しよう」という自治意識の成熟が求められるようになってきました。将来にわたって、豊かで持続可能なまちづくりを推進するためには、行政に依存するだけではなく、市民・企業・行政がそれぞれの役割分担を認識し、より良いパートナーシップの

強化を図る中で、市民が更に質の高い行政サービスを享受できるよう、具体的な協働の取り組みを進めることができます。

そのため行政は、市民・ボランティア団体・市民活動団体(NPO)・企業などと連携・協力するとともに、適切な支援を行うことが必要です。

## (7)地方分権・地域主権の進展、行財政改革の推進

今日の社会では、人々の価値観が多様化し、地域や様々な組織においても個性や多様性が一層尊重されるようになりました。その上で全国画一の基準やルールを土台とする中央集権型システムを見直す必要性が高まり、国が持っている権限や財源を地方に移し、地方自治体や市民の責任のもとで、主体的に政策を立案

し実施する地方分権型行政システムの移行の取り組みが少しずつ進められています。

本市においても、市民と行政の協働のもと、徹底した行財政改革の取り組みに合わせ、地域の自主・自立したまちづくりに取り組むことが求められています。

# III

## 出雲市の地域特性

### (1)合併による新出雲市の誕生

本市は、平成17年(2005)3月に出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町の2市4町の新設合併、平成23年(2011)10月に斐川町の編入合併により、古くから同じ文化圏・経済圏を形成してきた地域が一体となり現在の出雲市となりました。

その地勢は、北部は国引き神話で知られ、その一部は大山隠岐国立公園にも指定された島根半島、中央部は斐伊川と神戸川の二大河川

により形成された肥沃な出雲平野、南部は中国山地で構成され、海、山、川、湖、平野と多彩です。

合併により効率的・安定的な行政サービスを進める一方で、旧市町の優れた特性、資源を生かして総合力を高めることにより、子どもたちや若者をはじめ、すべての市民が夢と希望を持てる「五つ星の出雲市」の実現をめざしたまちづくりを進めています。

### (2)世界に誇る出雲ブランド

現存する日本最古の歴史書である古事記には出雲を舞台とする神話が数多く記載されており、出雲國風土記には豊かな古代出雲の姿とともに壮大な国土建設の国引き神話も語られています。また出雲大社や須佐神社、鰐淵寺、一畠寺などの古社寺、荒神谷遺跡、西谷墳墓群など多数の歴史文化遺産は、神話とともに往時の繁栄をしのばせるもので、出雲地方には、その昔大きな勢力が存在し、政治的、文

化的、宗教的にも非常に重要な地域であったと考えられています。

そうした出雲神話や歴史文化遺産から想い起こさせる出雲の神秘性や、癒し、縁結び、出雲の風土を感じさせる自然、生活や文化に根付く様々な素材が出雲ブランドと言えます。出雲ブランドをあらゆる産業や文化の振興に活用し、国内外へ積極的に発信していくことが、本市の発展には欠かせません。

### (3)発展への高い潜在能力

本市は、肥沃な出雲平野に育まれた県内唯一の農業地帯であり、日本海には多くの漁港を有し、シジミなどの内水面漁業も盛んです。製造品出荷額は島根県全体の4割を占め、商業集積も進んでおり、各産業がバランスよく調和した都市です。

医療福祉分野では、山陰有数の高度医療機関が集積し、様々な医療ニーズに応えるとともに、島根大学医学部をはじめとした高等教育機関も立地し、次世代を担う人材の育成にも力を

入れています。

美しい自然にも恵まれ、歴史文化遺産とも相まって貴重な観光資源となっています。このほか、文化やスポーツの振興にも積極的に取り組み、吹奏楽や合唱、大学駅伝の開催などで、全国的にも高い評価を得ています。

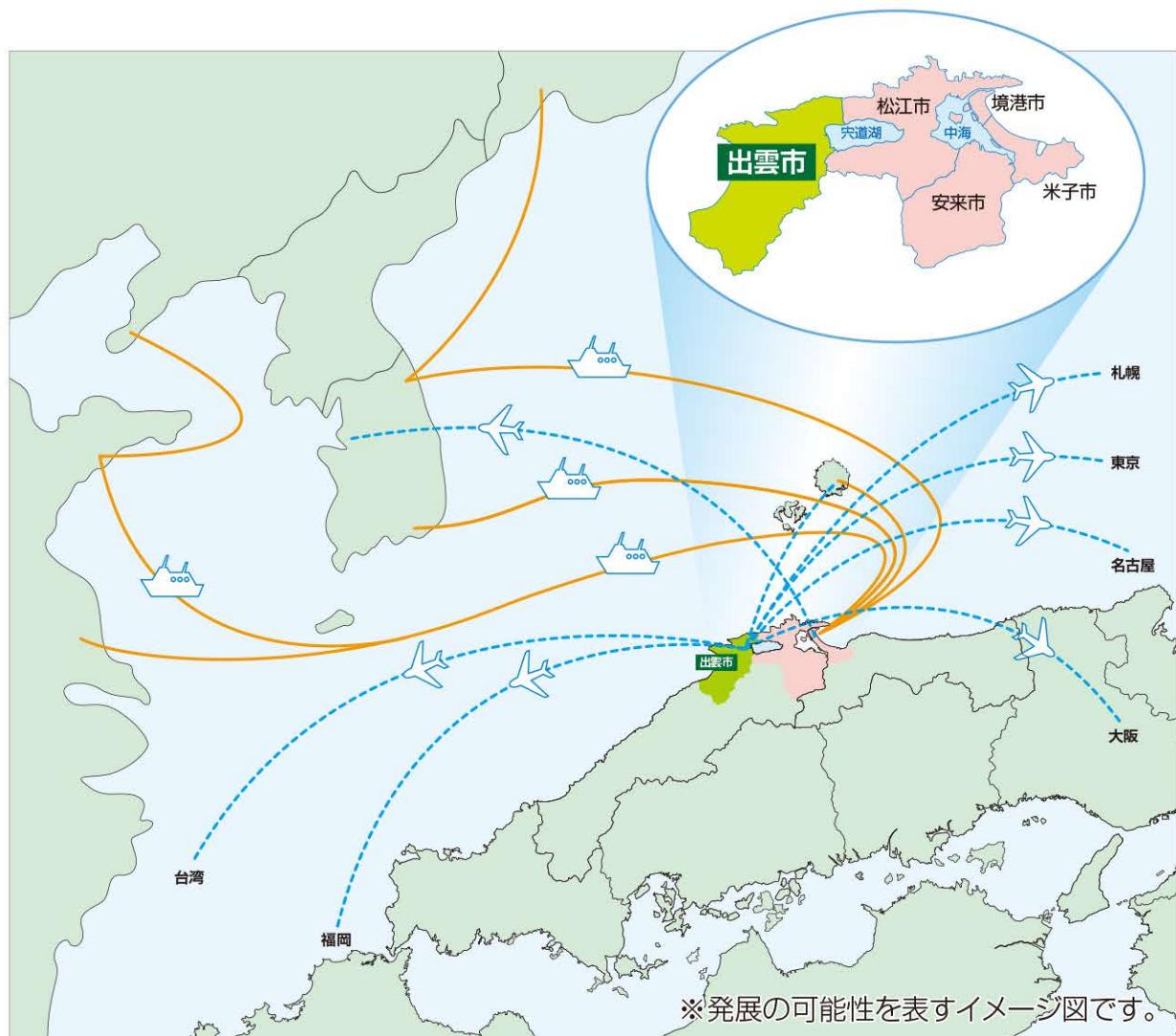
また、国内でも数少ないトキの分散飼育地でもあり、国内最大級の風力発電所とともに環境保全のシンボルとなっています。

#### (4) 広域連携による環日本海の玄関口の構築

宍道湖・中海圏域は、人口60万人を擁し、西日本の日本海側では、人口、産業、観光資源、交通拠点が最も集積する充実した都市機能を有し、中核的な都市圏として発展してきました。なかでも、本市の産業活力、ブランド力、観光資源は、圏域の魅力をけん引していく立場にあります。

また、本市には出雲縁結び空港があり、東

京、大阪及び福岡へ就航しています。このほか、圏域にはロシア、韓国との国際航路が就航している境港、韓国との国際航空路線が就航している米子鬼太郎空港が立地しています。このような本圏域の海外への玄関口を有効に活用することで、東アジアなど更に大きな枠組の中で、特色ある産業、観光など圏域の強みを生かした発展が可能になります。



## 市民満足度調査の結果

市の施策・取り組みに対する市民の満足度・重要度を調査する「市民満足度調査」を実施しました。この結果も踏まえ本市の主要な課題を分析し、将来像実現への基本方策に生かしました。

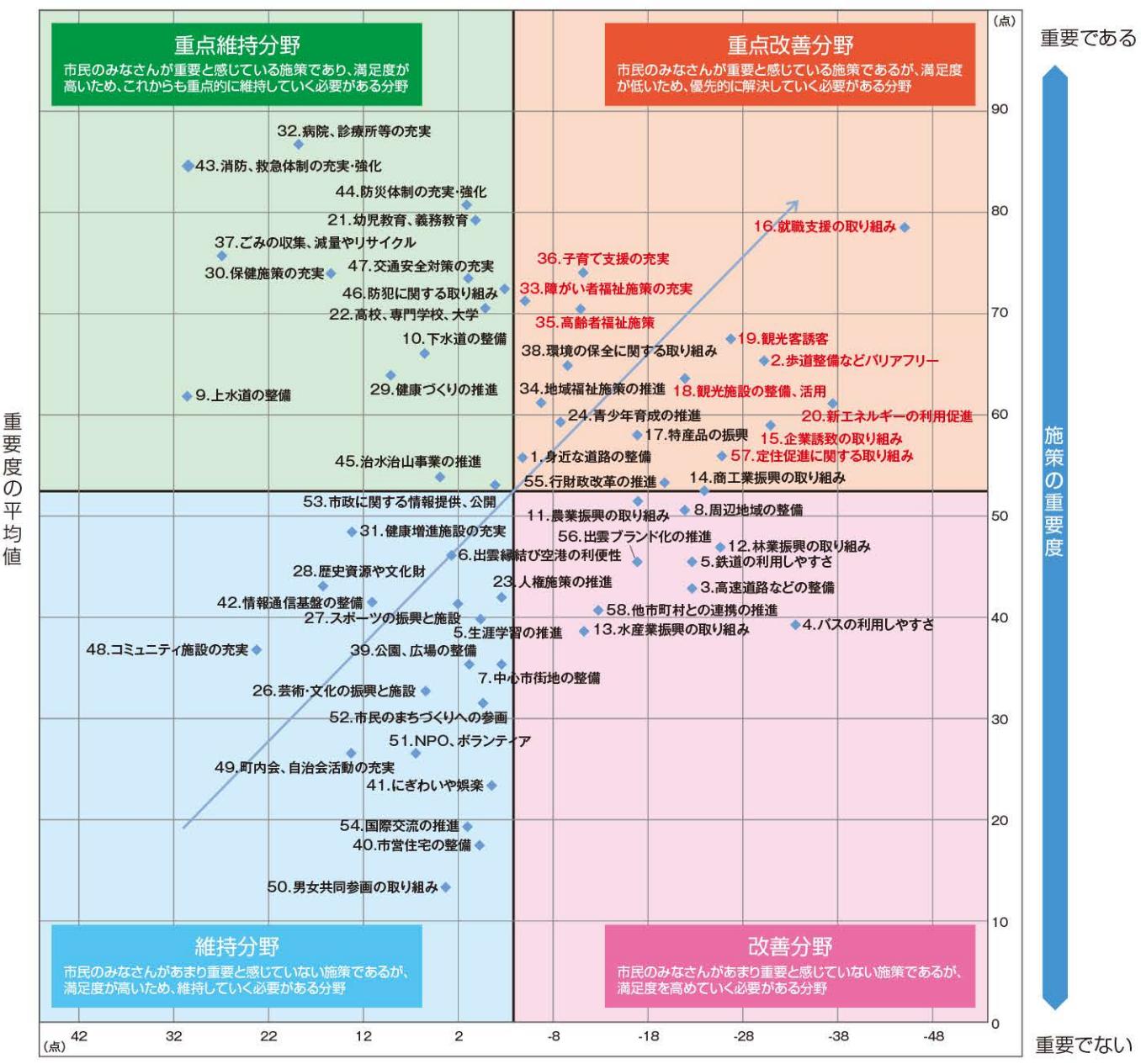
調査対象	18歳以上の市民を無作為に抽出
調査実施期間	平成24年6月5日～平成24年6月20日
回収状況	送付数:2,800名、回収数:1,310名、回収率:46.8%

### ニーズマップ

市の施策・取り組みに対する満足度・重要度を得点化し、各施策ごとに市民ニーズ度を算定するとともに、4つの分野に区分したものです。

右上に位置する項目ほど市民ニーズが高い  
(ニーズの高い10の施策は赤文字)

満足度の平均値



満足している

施策の満足度

満足していない

※項目の前の番号は、満足度調査の質問の整理番号です。

# V

## 出雲市の主要な課題

これまで取り組んできた施策や、本市をとりまく時代背景、地域特性、市民満足度調査の結果から、本市の主要な課題を次のようにとらえ、その解決に向けて取り組みます。

**安心して暮らせる安全のまちづくり**

**産業振興と雇用の場の確保**

**出雲ブランドの情報発信**

**低炭素社会の推進と循環型社会の構築**

**都市基盤の整備**

**公共交通ネットワークの整備**

**全市の一体感の醸成と多様な地域特性への配慮**

**保健、医療、福祉の充実**

**人口減少、少子化、超高齢社会への対応**

**教育の充実と人材育成**

**市民参画のまちづくり**

**行財政改革と地方分権に対応するまちづくり**

## まちづくりの将来像

# げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲

- ・市民が元気にくらし、産業が盛んな元気なまち
- ・人の優しさを感じる、笑顔と幸せあふれるまち
- ・あらゆるご縁を大切にし、誇りと愛着を持てるまち

## 将来像実現への基本方策



行財政改革の推進

## ■将来像実現への基本方策



# 安全・安心都市の創造

平成23年(2011)3月11日に発生した国内最大級の東日本大震災とともに、福島第一原子力発電所の被災により未曾有の大災害が発生しました。市民の生命・財産を守り、安全安心を確保することは、市の最も重要な責務です。この震災を契機に、安全安心を第一としたまちづくりの大切さ、地域コミュニティにおける絆づくりの重要性を再認識したところであり、防災体制の一層の充実を図ります。

本市は、島根原子力発電所の立地する松江市の隣接市であり、福島第一原子力発電所事故による避難区域が半径10kmを大幅に超える区域に及んだことから、その安全対策については、原子力発電所立地市並の権限が付与される「原子力安全協定」の締結を中国電力(株)に対して強く求めてまいります。さらに、万一の際の避難計画を策定するとともに、避難訓練を実施します。

また、消防・救急体制の充実に努めるとともに、斐伊川・神戸川流域治水事業をはじめとする治水・治山事業の推進や上下水道の整備を進めます。



消防出初式

自然災害だけでなく、振り込め詐欺や交通事故など暮らしにおける危機管理については、市民、行政、警察が一体となった防犯活動を強化するなど、より安全で、快適な暮らしを実現する取り組みを推進します。

市民に身近で重要な交通機関である、路線バスや一畠電車の運行を確保し、一層の充実に努めます。



築地松



出雲市交通指導員出動式





## ■将来像実現への基本方策



# 産業・観光都市の創造

産業振興と雇用の確保は、地域の活性化と発展のための要です。企業の集積や、山陰自動車道、出雲河下港、出雲縁結び空港といった陸・海・空の恵まれた交通基盤を最大限に生かし、積極的な企業誘致活動を展開するとともに、その受け皿となる新たな産業拠点を整備します。

また、環境と調和した産業振興を推進するため、大規模太陽光発電（メガソーラー）、中小水力発電、木質バイオマスなどの新エネルギー関連産業の立地を促進します。

さらに、市内企業の事業拡大や高度化、新製品・新技術開発、企業間交流による新ビジネス創出などを促進するため、異業種連携や产学官交流、企業間ビジネスマッチングなどを支援します。

県内最大の農業地帯である本市は、穀物・野菜・果樹・花き・畜産などにおいて多種多様な品目を誇り、県の農業産出額の1/4以上を占めるなど、この分野のリーダー役として大きな注目と期待を集めています。土地基盤や生産施設の整備により生産性向上と高品質化をさらに進め、安全・安心な食の提供などにより、活力と魅力にあふれた農の環境づくりを進めます。

森林・林業の振興については、森林の適正な管理を行うため、作業道を整備し、市産材の利用促進に向け、市全体の木材生産及び消費の拡大に努めます。

水産業については、県内屈指の衛生管理型施設を備えた大社水産物荷捌所を拠点に、地産地消の推進など水産振興の取り組みを積極的に進めます。内水面漁業では、日本有数の漁獲量をほこるシジミ資源の回復に取り組みます。

さらに、“出雲ブランド”的知名度を生かし、農林水産物、市内企業の製品、伝統工芸品の販売促進や販路開拓を後押しするとともに、市場ニーズに応える新たな商品・特産品開発の促進を図ります。また、第1次産業をはじめ、地場産業の共通課題である後継者や担い手の育成にも努めます。

壮大な出雲神話のロマン、古代から連綿と受け継がれてきた出雲の歴史文化遺産、豊かな自然資源、「縁結び」、「神在月」などの出雲を象徴するイメージは、本市の重要な観光資源であり、その価値を国内外にPRしていきます。

観光客の受け入れ態勢については、温泉の活用、宿泊施設の充実、まち歩きの誘導など滞在型観光を促す取り組みを進めるとともに、観光ボランティアガイドの育成など、市民あげてのおもてなしの心の醸成に努めます。

また、日本海や宍道湖、斐伊川、緑の山々などを舞台とし、自然の恵みである食文化、豊富な温泉施設、観光レジャー施設、さらには大型イベントや地域の祭り、伝統芸能など出雲の魅力を効果的に組み合わせることで、多様な観光ニーズに対応した、より戦略的な観光メニューの提案、情報発信に努めます。そして、継続的な賑わい創出につながる観光地づくりを進め、観光を基幹産業の一つに育成します。



立久恵峡



## ■将来像実現への基本方策



# 環境・文化都市の創造

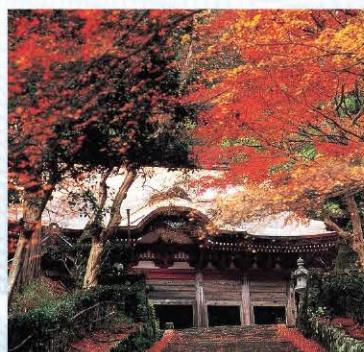
地球温暖化に対応するため、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら連携、協働して、省エネルギー化の促進、新エネルギーの普及啓発などを計画的に進め、地球上にやさしい、持続可能な低炭素社会の実現を図ります。

そのため、大規模太陽光発電所の立地を進めるとともに、木質バイオマス資源を活用したボイラーや小水力発電の導入を進めるなど、地域資源を活用した新エネルギーの導入・利用を促進します。また、エネルギーの安定確保と環境保全に対する意識の高揚を図るため、家庭用太陽光発電の導入を促進し、二酸化炭素の排出削減を進めます。

また、ごみの減量化を徹底し、廃棄物の抑制、再使用、再資源化の3Rの取り組みを強力に推進することで環境にやさしい循環型社会の構築をめざします。

出雲エネルギーセンターについては、耐用年数などを考慮しながら、次期可燃ごみ処理施設の調査検討、整備を進めます。

国際保護鳥トキの分散飼育においては、引き続き、国のトキ野生復帰事業に貢献するとともに、トキをシンボルとした環境や自然保護に対する意識の高揚を図ります。



鰐淵寺

また、環境保全施策として、水環境などの自然環境の向上に努めるとともに、環境学習の充実を通じて市民の環境美化意識を高めていく取り組みを推進します。

芸術文化の振興については、鑑賞機会、発表機会の充実や出雲芸術アカデミーなどを通して芸術文化に接する機会の提供に努め、市民の積極的な参加促進を図ります。

スポーツの振興については、市内の特色あるスポーツ施設の有効活用を図るとともに、全国トップレベルのチームのキャンプや強化合宿、大会の誘致を図ります。また、各種スポーツ大会や教室などを開催するとともに、市民の健康増進や体力向上はもとより、市民ニーズにあったスポーツ施策の推進と環境整備に努めます。

歴史文化遺産の保存活用については、出雲弥生の森博物館を拠点とし、荒神谷博物館や古代出雲歴史博物館と連携しながら、歴史資料の収集に努め、文化財調査・研究の成果を情報発信し、歴史学習の機会を提供します。



ひかわチューリップ祭り



## ■将来像実現への基本方策



# 交流拠点都市の創造

環日本海交流の玄関口である宍道湖・中海圏域の中心都市としてふさわしい機能的で活力に満ちた都市空間を形成し、他圏域と連携を図りながら、人・物・文化・スポーツ・産業・観光など多様な交流の拠点となる都市環境づくりを進めます。

中心市街地の整備については、出雲・平田・斐川地域において市街地内の幹線道路を計画的に整備促進し、都市基盤整備を図ります。

出雲大社周辺については、県内外からの観光客のまち歩きにふさわしい歴史回廊として、神門通りの整備と関連する道路や街なみ環境を整備します。

都市交流の基盤となる広域交通網の整備については、山陰自動車道をはじめとする高速道路ネットワークの早期構築と、宍道湖・中海圏域の高規格な8の字ルートを形成する境港出雲道路の整備を促進し、他圏域との交流の拡大を図ります。また、市内各地域間の交流促進や市の一体的かつ均衡ある発展を図るとともに、大規模災害時の避難道路として複数ルートを確保するため幹線道路の整備を進めます。

交通基盤の整備については、鉄道の高速化の推進や出雲河下港を海運による広域物流や災害時の救援活動の拠点として整備促進を図るとともに、近隣市町や関係機関と連携しながら利用促進に努めます。

出雲縁結び空港は、空の玄関口として周辺の住環境に配慮しつつ整備促進を進めるとともに、国内路線網の充実と利用者の利便性向上により、産業振興・観光振興・文化交流の促進を図ります。

国際交流については、国際化社会に対応できる人材の育成と多文化との共生の地域づくりをめざし、市民団体と連携し多様な活動を推進します。



ホームステイの様子(フィンランド・カラヨキ市)



道の駅 キララ多伎



JR出雲市駅北口



## ■将来像実現への基本方策

# 健康・福祉都市の創造

総合医療センター、県立中央病院、島根大学医学部、同附属病院、県立大学出雲キャンパスなどの県内有数の医療機関・医療系教育機関、健康増進施設、福祉施設が集積した優位性を生かし、保健、医療、福祉の連携により、健康で、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

市内のどこでも安心して暮らせる医療体制を構築するために、総合医療センターの医療リハビリ体制の充実を図るとともに地域医療機関とのネットワーク化を推進し、きめ細やかで切れ目のない診療体制の充実に努めます。

また、市民の生涯を通じた心と体の健康づくりを推進するため、健康増進施設の活用を図るとともに、健康診査や健康相談、食育によ

るまちづくりの推進などにより、各種保健施策や疾病予防対策、自殺防止対策、健康づくりに関する意識啓発などの充実に努めます。

地域で支えあう、住民主体の「共に生き、共に支える社会」の実現のため、住み慣れた地域で健康で、安らぎをもって暮らすことができるよう、地域全体で高齢者の日常生活を支える体制づくりを進めるほか、高齢者の社会参加活動や健康づくりを支援します。

さらに、障がい者が住み慣れた地域で、自らの意思のもとに、生きがいをもって自立した生活を送ることができるよう、福祉サービスや身近な相談・支援体制の充実を図り、だれもが安心して暮らせる体制づくりや社会参加の促進に努めます。



総合医療センター





## ■将来像実現への基本方策



### 人材育成都市の創造

少子化、高齢化に加え、人口減少社会を迎え、今までの社会構造が大きく変化する中、子育て支援体制や学校教育の充実により、次代を担う人材の育成をめざします。

だれもが安心して子どもを生み育てられ、また、子どもたちが心豊かに、健やかに成長することができる環境づくりを推進するため、出産、育児に関する相談支援体制の整備や多様化するニーズに対応した子育て支援サービス、保育サービスなどの充実に努めます。

また、保育所・幼稚園の幼児が、円滑に小学校に就学できるよう、保育所・幼稚園・小学校の連携の取り組みも更に推進します。

確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育む学校教育を充実させるとともに、出雲科学館での理科学習や出雲弥生の森博物館を活用した歴史学習など、創意工夫に富んだ特色のある教育を実践します。

さらに、特別な支援を必要とする児童生徒や障がいの多様化・重複化・重度化傾向への対応、不登校やいじめといった学校への不適応や問題行動などの困難を抱える児童生徒への支援など、子どもたち一人ひとりを大切にする教育の実践や、学校の適正規模化を図ることにより、子どもたちにより望ましい教育環境の整備に努めます。



中央保育所、中央幼稚園

また、\*ニート、ひきこもりなど、子ども・若者が抱える問題が複雑化・深刻化する中、困難を抱える子ども・若者が、社会生活を円滑に営むことができるよう、育成・支援します。

生涯学習については、市民の学ぶ意欲と地域・社会のニーズに応える多様な学習機会を提供し、生涯学習拠点の整備を進めます。図書館については、市内7館のネットワークを有効に活用し、地域の情報拠点としての機能の充実に努めます。

同和問題をはじめとするすべての差別を解消するために、人権・同和教育の更なる充実を図り、互いの人権を尊重しあう地域社会の実現に努めます。

また、性別にとらわれずそれぞれの力を生かし、いきいきと暮らすことのできる地域社会をつくるため、男女共同参画の取り組みを推進するとともに、\*ワーク・ライフ・バランスを図れるように啓発に努めます。

町内会、自治会への加入促進の支援などコミュニティ活動の一層の充実を図り、NPO、ボランティア活動などの市民活動を積極的に推進し、協働の仕組みづくりを構築するとともに多様化・高度化する住民ニーズや地域課題の解決に取り組みます。

市民が主役のまちづくりの実現のため、広報紙、ホームページ、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、新聞など様々な媒体により情報を提供するとともに、市民の声を直接聞く広聴機能の充実を図ります。

\*ニートとは、就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない若者のこと。

\*ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和の意味で、誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。



## ■行財政改革の推進

### 持続可能な財政運営をめざします。

- 行政の効率化とスリム化
- 借金体質の改善

将来像実現のための基本方策、戦略プロジェクトを着実に推進するためには、財政的裏づけが不可欠であり、これまで以上に行財政改革への取り組みを進める必要があります。

本市は、平成17年の合併前後の集中投資により起債(借金)の残高が急激に増加しましたが、投資的経費を抑制し平成21年度から減少傾向に転じました。しかしながら、借金返済のための予算である公債費は、依然として増加傾向にあり、平成25年度にピークを迎え、その後も当分高止まりの状況が続く見込みです。

財政の健全度を公債費負担の状況から表す指標である<sup>\*</sup>実質公債費比率、<sup>\*</sup>将来負担比率とともに<sup>\*</sup>早期健全化基準には至らないものの、平成23年度の数値はそれぞれ21.4%、237.7%と県内8市で最も悪い状況であり、引き続き起債(借金)発行の抑制に努めなければなりません。

地方交付税については歳入の約3割を占めていますが、<sup>\*</sup>合併算定替による特別加算が合併後10年を経過する平成27年度から段階的に減額され、平成34年度には、50億円近い一般財源が減少する見込みとなっています。

加えて、近年の少子高齢化の進行などによる社会保障費の増加にも対応せざるを得ない状況があります。

こうした非常に厳しい状況から脱却するためには、聖域を設けず徹底した行財政改革に取り組む一方、可能な限り将来を見通した財政計画を策定し、次世代に高負担を強いることのない持続可能な財政運営をめざさなければなりません。

具体的には、行財政改革大綱及び実施計画に基づいて、公共施設の統廃合と再配置、職員の定員管理と給与の適正化、公債費及び起債残高の抑制、公共サービスを受ける市民の負担の適正化など、市民の理解と協力を得ながら、着実かつ実効性のある改革を実施し、合併効果を最大限發揮し、行政の効率化、スリム化を図っていきます。

\*実質公債費比率とは、借入金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示しています。早期健全化基準は25%です。

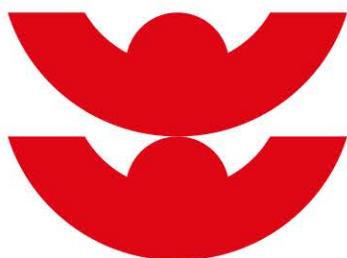
\*将来負担比率とは、将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。早期健全化基準は350%です。

\*早期健全化基準とは、地方公共団体の財政の健全化に関する基準です。財政健全化法で規定した実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率での基準値のいずれかを超過した地方公共団体は、財政健全化団体として自主的・計画的な財政の健全化が求められます。

\*合併算定替とは、合併市町村に係る普通交付税の算定方法の特例です。合併した年度及びこれに続く10年間(斐川町との合併は5年間)は、合併前の旧市町村が存続した場合に算定される普通交付税の合算額が保障されます。さらにそれに続く5年間は激変緩和措置があり段階的に減額になります。

# 出雲市の市章・市の木・市の花・四季の花

## 市章



出雲市の「出」を図案化したデザインです。  
大空にはばたく鳥や、大きく手をひろげる  
市民をイメージし、全体として飛躍発展する  
出雲市を表しています。

## 市の木 黒松



## 市の花 菊



## 四季の花



春／サクラ



春／ツツジ



夏／アジサイ



秋／コスモス



冬／ツバキ

## ■平成33年(2021)の目標人口

ここ数年の間に、日本の人口は減少に転じ、初めて継続的な人口減少社会に突入したと言われています。平成24年(2012)においては、前年からの人口減少数が26万人を超え、過去最大の減少数を記録するとともに、毎年、減少数が増え続けるものと予想されています。

国立社会保障・人口問題研究所が推計した平成32年の日本の将来推計人口は、約1億2,410万人とされ、平成22年と比較し約400万人が減少すると予想されています。

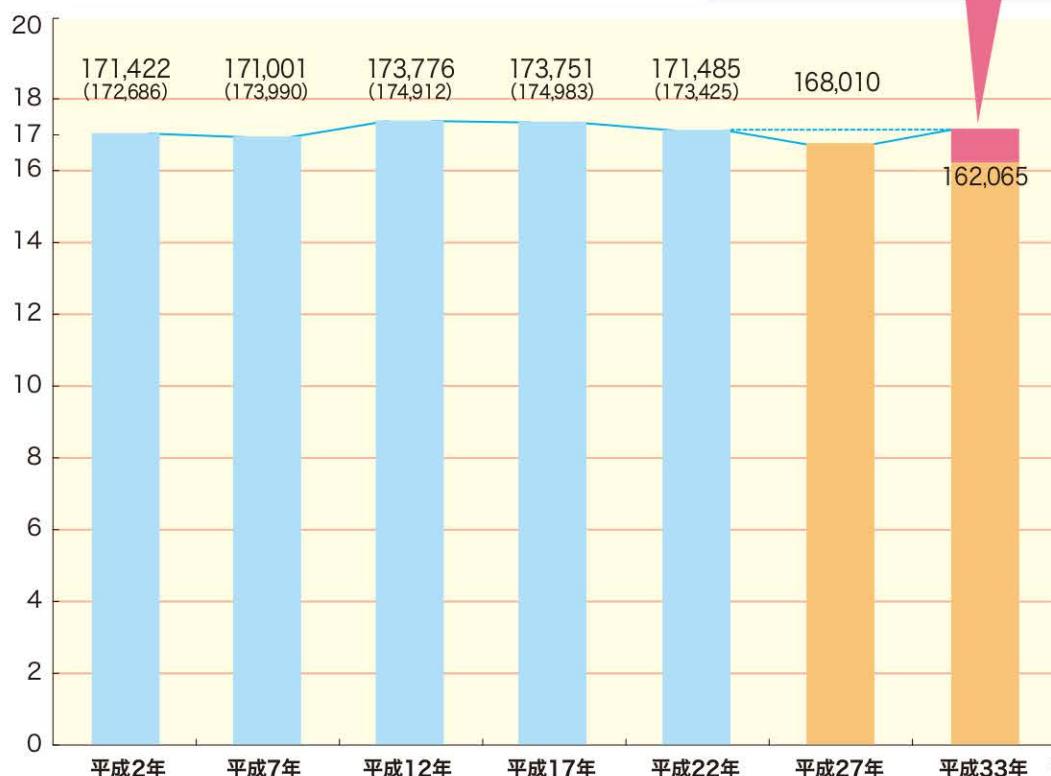
本市においても、同研究所の推計によれば、平成32年(2020)の人口は、約16万3千人となり、平成22年(2010)の人口から約8千人が減少すると予想されています。

しかしながら、本市においては、子育て支援や定住対策の充実、産業の振興と企業誘致による雇用創出、魅力あふれる出雲ブランドの情報発信や歴史文化遺産を生かした観光振興などに取り組み、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」を実現することで、平成33年(2021)は、人口17万人台を維持することを目指します。また、特に人口減少や少子・高齢化が著しい地域については、地域コミュニティの活力が維持できるよう重点的な定住、人口減少対策を講じます。

出雲市の人団推移と将来推計人口、目標人口

(単位:万人)

平成33年(2021) 目標人口  
17万人台  
(住民基本台帳人口)



(注)平成22年までは国勢調査、平成27年は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成20年12月)  
平成33年の人口は、国立社会保障・人口問題研究所による平成32年と平成37年の推計値を基に算出  
( )内は、各年の4月1日現在の住民基本台帳の人数

## ■平成33年(2021)の目標交流人口

本市は、古くから「神話のふるさと」として全国に知られるとともに、多くの歴史文化遺産、豊かな自然とそれに育まれた様々な農林水産物や出雲そばなどの特産品にも恵まれています。

縁結びで親しまれている出雲大社では、平成25年5月に60年に一度の「平成の大遷宮」により全国から多くの参拝客、観光客が訪れることが期待されます。また、表参道の神門通りの整備も進められるとともに、新たな店舗も数多く出店し門前町の賑わいが創出されています。

この遷宮を契機に、広域的な観光ネットワーク化を進め、新たな観光ルートを提供するなど、本市の魅力的な観光資源を全国に発信し、心のこもったおもてなしの実践により誘客の拡大を図ります。

また、出雲のブランド開発をより一層進めるとともに、芸術文化及びスポーツなどのイベントの魅力を高めるなど、国内外への情報発信に努め、全国から多くの人が何度も訪れたくなるまちをめざし、平成33年(2021)には、交流人口1,000万人の達成を目指とします。

### 出雲市の交流人口の推移と目標交流人口

(単位:万人)



資料)島根県観光動態調査

## ■土地利用の基本指針

本市は、豊かな自然の中にはて、山陰自動車道、街路事業、治水対策などの社会資本整備が着々と進展しています。

今後の土地利用にあたっては、その地域性や形状を踏まえつつ、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」を実現するため、次の視点に立って、計画的な整備、利用、保全を図ります。

### (1)都市拠点

本市の発展を支え、宍道湖・中海圏域の中心都市としての機能を発揮するために、都市計画区域における用途地域を「都市拠点」として位置づけます。

各地域それぞれの地域特性を生かし、官公署、商工業・観光・サービス業などの産業集積と良好な住宅環境の立地、形成を誘導するため、その基盤となる街路、河川、下水道などの都市基盤整備を進めます。こうした都市拠点を中心に活力あるまちを創造するため、今後の状況変化に応じて用途地域の拡大について検討します。

- 中核都市拠点…出雲地域の用途地域(出雲長浜中核工業団地を除く、拡大予定地域を含む)

広域的な都市拠点として、商業、行政、都市居住機能、医療・福祉、文化、教育などの様々な高次都市機能が集積し、発展の中核となる市街地

- 東部都市拠点…平田地域の用途地域

中核都市拠点に次ぐ都市拠点として、都市機能が集積し、都市の発展を支える市街地

- 観光都市拠点…大社地域の用途地域

観光・文化・交流機能をはじめ、都市機能が集積し、観光都市づくりの中核となる市街地

- 産業都市拠点…斐川地域の用途地域、出雲長浜中核工業団地

産業機能をはじめ、都市機能が集積し、産業都市づくりの中核となる市街地

### (2)周辺市街地

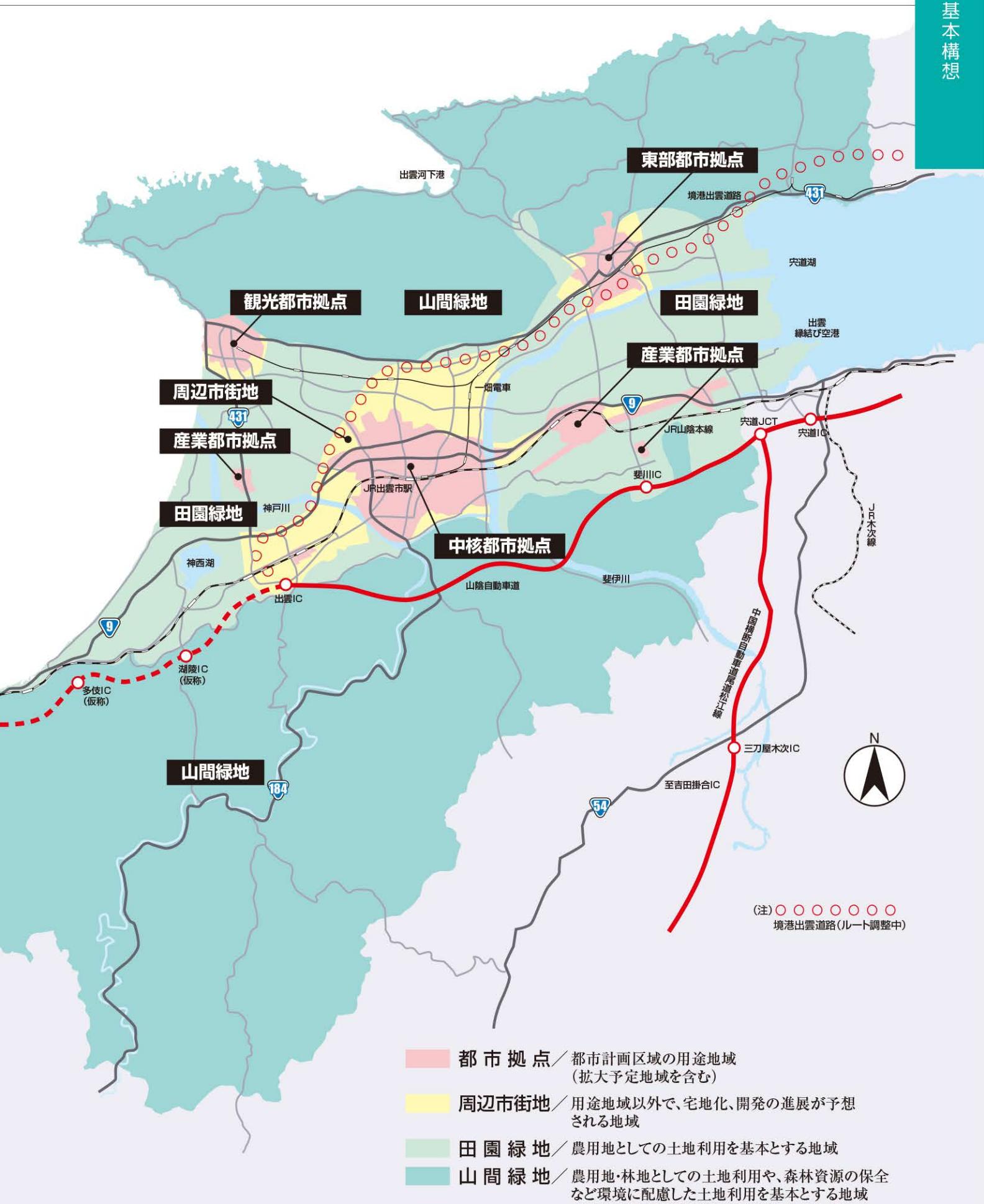
用途地域周辺にあって、幹線道路などの都市基盤整備や宅地化が進展しつつある「周辺市街地」については、田園環境の保全を基本として、適切な宅地化を計画的に誘導するとともに、新たな産業集積と農商工にわたる産業、ビジネスの一層の活性化に向け、秩序ある用地の活用に努めます。

### (3)田園緑地

出雲平野に広がる「田園緑地」については、農業生産の場として農用地としての土地利用を基本に、農地の保全整備、営農環境の充実を図るとともに、出雲らしい田園景観と豊かな自然が織り成す美しい景観の保全に努めます。

### (4)山間緑地

「山間緑地」については、国土保全、土砂災害防止、水源かん養、地球温暖化防止など様々な公益的機能をもっています。森林・自然環境の保全と育成を前提とし、農山漁村の定住環境の整備や森林、海洋、温泉などの資源を生かした保養空間の活用を図ります。



# みんなで描こう「未来の出雲」「大好きな出雲」 图画コンクール 入賞作品

この图画コンクールは、総合振興計画の策定にあたり、未来を担う子どもたちにも参画してほしい、出雲をもっと好きになってほしいとの思いから、平成24年7月から8月にかけて小・中学生に描いてもらったものです。

「未来の出雲」の部19作品、「大好きな出雲」の部48作品の応募があり、次の作品が入賞作品に決定しました。(学校名、学年は応募時のものです)

その他の応募作品については、P53に掲載しています。

## 未来の出雲

### ► 未来の出雲大賞



100年後の出雲  
荒木小 3年 中山 敬介さん

### ► 未来の出雲賞



出雲ドームのとなりに観覧車ができるといいな  
四絆小 2年 山本 雪那さん

### ► 未来の出雲賞



ゆめいっぱい「いずも」  
今市小 2年 池淵 綾華さん

### ► 未来の出雲賞



朱鷺の飛ぶまち  
神戸川小 4年 松岡 采花さん

### ► 未来の出雲賞



エコ出雲  
神西小 5年 立原 愛也さん

### ► 未来の出雲賞



ゆたかな自然と宇宙エレベーター  
高松小 6年 小田 昂到さん

## 大好きな出雲

### ► 大好き☆出雲!大賞



大好きな大土地神楽  
莊原小 3年 土江 もかさん

### ► 大好き☆出雲!賞



ひこうきとひまわり  
北陽小 1年 渡部 史菜さん

### ► 大好き☆出雲!賞



シャインマスカット  
今市小 2年 高橋 和加乃さん

### ► 大好き☆出雲!賞



チューリップ畑  
東小 2年 釜屋 陽菜さん

### ► 大好き☆出雲!賞



あこがれの車掌さん  
高松小 5年 矢田 寛也さん

### ► 大好き☆出雲!賞



よみがえった神門通り  
大社中 3年 梶谷 有里さん

# 戦略プロジェクト

基本構想で示したまちづくりの将来像「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」を実現するための基本方策を進めるにあたり、市をあげて取り組む4つのテーマを戦略プロジェクトとして掲げ、特に重点的に取り組んでいきます。

雇用創出2,000人  
プロジェクト

定住人口キープ17万人  
プロジェクト

交流人口1,000万人  
プロジェクト

住みやすさNo.1  
プロジェクト



# 雇用創出2,000人プロジェクト

雇用の場の確保は市民生活を支える最も重要な課題であり、市民満足度調査で最も市民ニーズが高い項目です。本市の産業をしっかりと支え、企業誘致や起業化支援に積極的に取り組むとともに、福祉や介護、農林水産業など幅広い分野の人材需要を掘り起こし、産業構造の変化や若年層などの就業ニーズに対応した多様な就業機会の確保に努めることにより、10年間で2,000人の新たな雇用創出をめざします。

地場産業の振興については、事業拡大や高度化を促進し、新製品・新技術の開発や新分野への進出、新産業の創出などを支援します。またブランド力のある多彩な農産物を生産する農業を中心に、林業、水産業がより魅力とやりがいのあるものとなるよう、各種施策に取り組みます。

近年、失職や就職難で困っている人が増加しており、事業者が求める人材の養成や雇用のミスマッチの解消を図り、新規学校卒業者や非正規雇用者などが安定した職業に就けるよう就職支援などに取り組みます。

## 守り育てる

### 農林水産業の振興

農林水産業は本市発展の基礎となる重要な産業であり、地域振興の要です。農林水産の各分野において、働く者の努力と個性が生きる魅力的な就労環境となるよう、生産基盤の整備、新技術の開発、業務の効率化・省力化、出雲の知名度を生かした販売戦略展開などを進めます。

また農林水産業は、住や食などを通して、市民の健康的・文化的生活に密接に関係することを踏まえ、安全・安心な地場産品の生産と消費が進むよう環境整備に努めます。



多伎いちじくの収穫

### 商工業の振興

中小商工業者の活性化を図るため、市内産品の販路拡大、新製品などの開発や新分野への進出促進に努めるとともに、金融支援も行います。

また、中核都市拠点の中心市街地や東部都市拠点の商店街などにおいては、空き店舗対策、商業環境整備、イベント開催支援などにより、賑わいや交流の場機能の再生を図ります。

一方、身近な商店がなくなり、買い物が困難となった、いわゆる買い物弱者の対策が急務となっており、暮らしを支えるための商業、流通への支援を行います。



夢フェスタinいすも

## 就業支援

ショブ・ステーション出雲(出雲総合雇用情報センター)では、ハローワーク出雲と連携しながら、利用者に対して求人などの情報提供、適職診断、就職相談、就業支援、就職後のフォローアップまできめ細やかに対応し、就業の促進を図ります。

また、産業支援に取り組むNPO法人との連携により、求職者及び事業者の能力開発・資質向上を図るように努めます。



就職説明会

## 産業の担い手育成

農業では、集落営農の推進、組織の法人化、企業の新規参入の支援、アグリビジネススクールでの意欲ある農業者への研修を行うとともに、新規就農者への支度金制度などの支援により担い手の育成に取り組みます。

林業では、みどりの担い手育成事業による支援、水産業では、新規就業者に対する支援措置などの充実に努めます。

また、伝統工芸の優れた技術・技能を次世代に継承できるよう後継者育成や販路拡大を支援します。



アグリビジネススクール

# 新たにチャレンジ

## 新産業の創出

農商工・产学研連携や企業間交流の推進により、新たな起業の促進や新産業の創出をめざすとともに、風力、水力、バイオマス、太陽光などの地域資源を活用した新エネルギーの導入・利用を促進し、関連産業の立地を図ります。



出雲産業フェア

## 企業誘致の推進

本市のもつ企業集積と恵まれた産業基盤、交通利便性の強みを生かし、既存の工業団地や空き工場などの低・未利用地への企業誘致を図るとともに、中心市街地などへIT関連などソフト産業系業種の誘致も促進します。

また、大規模災害のリスク分散に備える企業の誘致など新たな企業進出に備えるため、斐川中央工業団地を整備します。



斐川中央工業団地イメージ

## 出雲ブランドの推進（特産振興、販路の拡大）

水稻、麦、大豆をはじめ本市の地形や気候を生かして栽培された果樹、有機・減農薬野菜や、花き、海産物や加工品、また、継承されてきた伝統工芸品など、地域特性を生かした特産振興を進めます。

また、市内企業が生産する出雲とのかかわりのある商品・製品の「出雲ブランド商品」や「出雲推奨商品」の認定制度により、積極的に市内外へ情報発信を行い、販売促進・販路拡大に努めます。



西浜いも



西条柿

## 農林水産業の6次産業化

本市は自然豊かな海と山に囲まれ、ブランド力を持った多彩な特産品を誇ります。地元産品を活用したスイーツフェアの開催など、農林水産業者と加工、流通・販売業者とのマッチングを促進することにより、多様な業種と連携した新商品の開発や販路開拓、施設整備などの6次産業化や地産地消の取り組みを推進します。

また、一般企業の農業ビジネス参入についても支援し、新たな雇用創出をめざします。



シャインマスカットのスイーツフェア

# 定

# 住人口キープ17万人プロジェクト

戦略プロジェクト

日本全体が人口減少の時代を迎える中で、本市においても現在の人口を維持していくことは大変厳しい状況です。しかしながら、大幅な人口減少は、生産力の低下など地域経済の停滞を招くのみならず、様々な地域の活力低下につながることから、本市では平成33年の目標人口を平成24年度と同様の17万人台を維持する目標を設定しました。

本市に住み続けたい、住んでみたいと思っていたために、市民、企業、団体、行政それぞれのもてる総合力を結集して、縁結び、雇用、子育て、出雲ブランド、スポーツ、文化、人材など出雲市の魅力を高め、定住人口17万人台の維持をめざして全力で取り組みます。

## 守り育てる

### 定住支援

全国に住みよいまち出雲の魅力を積極的に情報発信するとともに、島根県や(公財)ふるさと島根定住財団をはじめとする関係機関との連携を強化し、住まいや就労などUターン者のニーズに対応した情報提供と支援を行い定住を促進します。

また、新築住宅に対する固定資産税の\*課税免除制度を平成28年まで延長し、住宅の建設を促進するとともに、既存の市営住宅などの活用により住宅を安定的に提供し、定住促進を図ります。

\*「出雲市新築住宅に対する固定資産税の課税免除に関する条例」に基づきます。

### 公共交通ネットワークの整備

路線バスや一畠電車の運行確保に努めるとともに、JRやその他の交通機関との円滑な連結に努め、中心市街地や各地域の生活拠点施設へのアクセスと利便性の向上を図ります。

また、バス交通については、地域で組織された運行協議会とともに、より望ましい運行形態を検討し、各地域において多くの利用が見込まれる運行形態の整備を図ります。



一畠電車



生活バス

定住人口キープ17万人プロジェクト

## 市民活動の支援

市民自らの意思で自主的・主体的に地域の抱える課題の解決に取り組む市民や市民団体の活動が、まちづくりの新たな担い手として期待される中、市民や企業、各種団体(NPO法人を含む)と行政が互いの役割を理解し、連携協力していくことがますます重要となることから、市民と行政との協働のまちづくりを一層推進します。

また、出雲市総合ボランティアセンターを中心に出雲市全域で\*広範なボランティア活動の推進・意識啓発に取り組むとともに、ボランティアのネットワークづくりや災害時に官民が連携し迅速に対応できる災害ボランティアの組織づくりを推進します。

\*広範なボランティア活動とは、個人やグループ、団体などが行う福祉、教育、文化、芸術、スポーツ、環境、国際協力、まちづくり、人権など幅広い市民活動のこと。



子どもたちによるビオトープの活動



東日本被災地支援の活動

## 新たにチャレンジ

### 縁結びプロジェクト（男女の出会いの場創出、結婚支援）

少子化は、労働力の減少による地域経済への影響や地域コミュニティ機能の低下など、将来の地域全体の活力低下を及ぼす深刻な問題です。

少子化の要因の一つには価値観の多様化や独身男女の出会いの場の減少などによる未婚化、晩婚化の傾向があげられ、本市においても早急な対応が必要です。

地域の団体、企業などと連携を図りながら結婚を望む方が交流できる様々な出会いの場の創出や、市民が主体となった結婚支援活動を支援します。



縁結び(イメージ)

## 維持が困難な集落の支援

本市の中山間地や海岸部には、人口減少と少子高齢化が著しく進み、住民自治、農作業や冠婚葬祭など、共同体としての機能維持が困難な集落が今後大幅に増加することが予想され、それぞれの地域の実態にあった対策を講ずることが急務です。特に、緊急な対策が必要な地域における支援を強化するための組織を支所内に設置します。

また、地域住民が主体的に取り組めるよう十分な話し合いができることが重要であり、地域づくりリーダーの育成を図るとともに、共同による農林水産業のコミュニティビジネスの創出、地域資源を利活用した元気の出る地域づくりや起業化に向けた支援に取り組みます。



出雲市集落応援隊の活動

## 出雲ブランドの推進（出雲の魅力発見・情報発信）

市民自らが出雲の魅力を再発見し、出雲に住むことへの誇りや愛着をさらに深め、ひいては市外から憧れを抱かれるまちとなるよう、出雲ブランド化推進市民委員会を中心に、多くの市民の参画を得ながら、「大好き☆出雲!」の合言葉のもと様々な取り組みを展開します。

子どもたちに出雲の魅力、先人の知恵や現代の技術、ふるさとの歴史文化や自然などについて体験的に学ぶ機会の充実を図り、郷土への誇りや愛着を育みます。

また、出雲の情報発信力を強化するため、フィルムコミュニケーションの設立などを検討します。



出雲ブランド化推進市民委員会の活動

大好き☆出雲!ホームページ



大好き☆出雲!ロゴマーク



# 流人口1,000万人プロジェクト

地域経済を活性化するためには、観光産業を中心とした交流人口増加の取り組みが大変重要です。本市は、日本有数の観光資源を有する地であり、特に出雲大社周辺を歴史文化のシンボル空間と位置づけ、関連道路や街なみ景観の整備、商店街の活性化を支援します。そして、心地よく楽しみながらまち歩きができる空間を創出し、「神話の國 出雲」の中心的な観光地としての求心力を高めます。

また、歴史文化遺産を結ぶ歴史探訪ルートの構築、豊かな自然資源を活用したレジャー施設、神話・縁結び・神在月・食文化・スポーツ・医療などをキーワードに、出雲の知名度向上にも繋がる全国規模の各種大会やイベントの開催、多様な観光客のニーズに対応した各種施策の展開や、国内、国外を問わず広域連携による観光施策を推進し、滞在力の強化を図るとともに、豊かな歴史・文化・自然資源を最大限に生かし、交流人口1,000万人の達成をめざします。

## 守り育てる

### 歴史文化遺産の保存活用

本市の歴史文化遺産の価値を市民が再認識するとともに後世に伝えるため、出雲大社や鰐淵寺、田儀櫻井家たら製鉄遺跡、国富中村古墳、旧大社駅など市内に多数存在する歴史文化遺産の保存整備、活用を進めます。

また、出雲弥生の森博物館を文化財行政の拠点とし、荒神谷博物館や古代出雲歴史博物館と連携しながら、歴史資料の収集、調査研究を行い、その成果を全国へ情報発信するとともに、歴史学習の機会を提供します。



出雲弥生の森博物館



田儀櫻井家たら製鉄遺跡



荒神谷遺跡

### 観光ネットワークの構築

パワースポットとして注目を集める須佐神社、江戸期の街並みの面影をとどめる木綿街道、夏でも冷風が吹き出す八雲風穴、映画「RAILWAYS」の舞台となつた一畠電車など、歴史文化、自然、産業などの豊かな地域資源を生かし、多様なテーマに基づいた広域周遊ルートを設定します。特に神話、縁結びなどをキーワードとしたストーリー別広域観光ルートを設定するとともに、観光スポットを巡る移動手段をわかりやすく提供し、観光客の周遊性や利便性を高めます。

また、中海・宍道湖・大山圏域市長会の構成市や石見銀山などの近隣地域と連携し、広域的な観光資源を活用した圏域全体の魅力向上と誘客を促進するとともに、近隣の市や民間企業と連携し、電気自動車のレンタル事業を活用した観光にも取り組みます。



須佐神社



一畠寺

## 歴史文化のシンボル空間の整備

歴史文化のシンボル空間である出雲大社周辺のまち歩きの魅力を高めるため、神門通りの歩車道整備や街なみ景観の保全と形成を図ります。出雲阿国ゆかりの地などのスポットを結ぶ回遊コースや神迎えの道などの散策道の美装化、誘導看板の設置、まち歩きガイドの充実により、観光客の利便性、満足度を高めます。

ご縁広場における物販施設の整備や吉兆館、温泉施設の有効活用により、その情報発信・集客拠点としての機能を強化します。また、神門通りの商店街の改装や新規出店を支援し、観光地としての商業施設の整備充実を促進します。



神門通りの賑わい

## 出雲ブランドの推進(神在月、地域の特色を生かした交流推進)

神在月にあわせ、イベントを含めた様々な情報を全国に発信します。また、出雲全日本大学選抜駅伝競走、神在月出雲そばまつり、出雲総合芸術文化祭など、大型イベントを実施し、全国からの誘客を図るとともに、出雲発祥の「ぜんざい」など食文化を通じた交流を推進します。



出雲全日本大学選抜駅伝競走

# 新たにチャレンジ

## 広域交通ネットワークの構築

広域交通網の主軸となる山陰自動車道をはじめ、高速道路ネットワークの早期構築をめざすとともに、地域高規格道路境港出雲道路の早期ルート決定と事業化を促進します。

出雲縁結び空港の国内路線網を充実させ、空港利用者の利便性向上を図るとともに、国際路線の就航をめざします。

また鉄道の利用を促進し、利便性向上を図るとともに、関係機関と連携し山陰新幹線、中国横断新幹線の導入を推進します。

出雲河下港については、湾内の静穏度を確保し、年間を通して、安定的な利用を可能とする沖防波堤の整備及びアクセス道路の整備を推進し、国内外との海運拠点としての機能強化を図ります。



山陰自動車道



出雲縁結び空港



出雲河下港

## インバウンド観光(外国人による訪日観光)の推進

内需喚起の起爆剤として、新たな観光市場を開拓するため、海外からの観光誘客を推進します。海外からの観光商品造成支援、外国語対応ガイドの養成など、官民一体となったホスピタリティ(心からのおもてなし)を提供できる体制の充実を図るとともに、映画祭などのイベントを活用し、海外への情報発信に努めます。

また、出雲縁結び空港や米子鬼太郎空港、フェリーの海外定期航路を中心に、東アジアとの国際路線の利用や新規就航を中海・宍道湖・大山圏域で取り組みます。

### 出雲大社「平成の大遷宮」後の観光対策

60年ぶりに行われる出雲大社「平成の大遷宮」後も引き続き出雲の魅力を広く全国に発信するとともに、神門通りの更なる賑わいの拡大をめざします。出雲大社を核として、市全体の観光スポットへ周遊する取り組みを展開し、再び訪れていただけるような仕掛けづくりや着地型観光プランの開発に取り組みます。

また、スポーツ、田舎体験、医療ツーリズムなど、充実した観光素材を活用し、多様なニーズに対応する商品開発や仕組みづくりに努めます。



出雲大社



出雲日御碕灯台

### スポーツ・レジャー空間の活用

日御崎、キララビーチに代表される美しく豊かな海岸線、宍道湖・神西湖周辺、斐伊川・神戸川流域、さらに絶好のビュースポットである立久恵峠など山系の森と水を生かし、市民の憩いの場として、また交流人口の拡大のため、市内各種施設と連携しながら様々なスポーツ・レジャー空間としての活用を図ります。

現在休園状態にある出雲いりすの丘は、日本三美人の湯である湯の川温泉の活性化と連携を含めた民間活力の導入などあらゆる活用の方策を検討します。



神西湖



湯の川温泉

# 住みやすさNo.1プロジェクト

日頃から安全で安心して暮らすことができるまちであることは多くの市民の願いです。

本市の抱える課題解決のため、これまでの取り組みや市民満足度調査の結果から、「消防・救急体制の充実」や「防災体制の充実・強化」など市民の重要度が高い施策や、市民生活に密接な関わりのある各分野(防災、環境、新エネルギー、健康、福祉、子育て、バリアフリー、文化、スポーツ、教育など)の施策については、特に重点的、計画的に取り組みます。

市民にとって「生活が良くなった」、「住みやすくなった」と実感できるよう、本市の住みやすさの総合的な満足度を高めることにより、「ずっと出雲市に住み続けたい」、「出雲が大好き」と思える「市民一人ひとりにとって住みやすさNo.1のまち」をめざします。

## 守り育てる

### 防災安全都市の構築

安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めるため、様々な災害に対応できる地域防災計画の見直し、高度な消防救急体制の整備、防災行政無線の充実を図ります。

また、自然災害から市民の生命・財産を守る治水・治山事業などを推進し、災害の発生防止に努めるとともに、万一に備えた原子力災害に対応できる体制の構築を進めます。



出雲市防災訓練

### 生涯現役支援(健康づくり、疾病予防、介護予防の充実)

健康診査や健康相談をはじめとする保健サービスを充実させ、疾病予防、生活習慣病予防、介護予防を図るとともに、各年代のライフサイクルに沿った住民参加の健康づくりを進め、市民が生涯にわたって生き生きと健康で心豊かに暮らすことのできる生涯現役のまちづくりを推進します。



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

## 保健・医療・福祉ネットワークの構築と連携強化

総合医療センター、県立中央病院、島根大学医学部、同附属病院、県立大学出雲キャンパス、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校、出雲医療看護専門学校(平成25年4月開校予定)などの医療機関・医療福祉系教育機関などが集積した立地の優位性を生かし、地域の保健・福祉関係施設と連携して、予防、疾病の早期発見から治療、在宅復帰、福祉サービスにいたるまで切れ目なく続く体制とネットワークを構築し、すべての市民が住み慣れた地域で安心した暮らしを実現できるまちづくりを推進します。



ネットワークイメージ図

## 子育て支援

子どもを安心して生み、喜びをもって子育てができる環境を整えるため、多様なニーズに対応した子育て支援策の充実を図るとともに、育児などに関する相談体制の充実を図ります。

また、子どもの健やかな成長のために、各種健診、訪問、相談、教室、予防接種などの母子保健サービスを充実するとともに、地域の子育て力を活用するなど総合的な保健施策の充実を図ります。

あわせて、一般不妊治療助成や養育支援訪問など、支援が必要な家庭への適切なサービスを提供します。



母子健診

## 高齢者、障がい者の支援

高齢者の健康増進、介護予防の取り組みを推進するとともに、様々な社会参加を促進し、住み慣れた地域でそれぞれが生きがいを感じながら安心して暮らせる住みやすいまちづくりを進めます。

障がいがあっても、住み慣れた地域で充実した暮らしが実現できるよう、障がい福祉サービスや身近な相談・支援体制の充実を図ります。



いきいき体操教室

## 人材育成(特色ある学校教育、学力向上、文化・スポーツの振興、ボランティア育成)

未来の出雲を担う子どもをたくましく育てるため、出雲科学館を活用した理科学習や特色ある学校教育を充実させ、確かな学力の定着を図るとともに、創造性豊かな人材の育成をめざします。

また、特別な支援や不登校、問題行動など困難を抱える児童生徒への支援など子どもたち一人ひとりを大切にする教育を実践します。

文化・スポーツについては、子どもから高齢者まで多くの市民が参加しやすい機会を提供し、一層の振興を図ります。特に、近年のスポーツにおける女性の活躍は著しいものがあり、本市においても、新たな視点に対応できるスポーツ振興の充実について検討します。

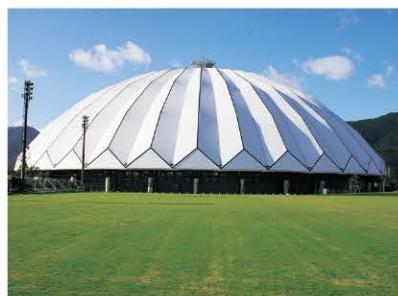
さらに、市民自らが地域の抱える課題について考え、創意工夫による問題解決が図られるよう主体的な市民活動、コミュニティ活動、ボランティア活動を支援し、協働のまちづくりを推進します。



出雲科学館での理科学習



出雲歌舞伎むらくも座



出雲ドーム

## 自然環境保全(森林再生、河川・湖沼の水質改善、トキをシンボルとしたまちづくり)

本市の豊かな森林は、国土保全、土砂災害防止、水源かん養、地球温暖化防止など様々な公益的機能を有しており、その保全・再生を図ります。また、松くい虫の被害跡地の再生に努めます。

宍道湖、神西湖、斐伊川、神戸川をはじめとする河川・湖沼の水質改善を図り、自然環境を守ります。

また、全国で数箇所のトキ分散飼育の指定地として、トキをシンボルとした環境保全型農業など人と自然が共存できるまちづくりを推進します。



国際保護鳥トキ(出雲市トキ分散飼育センター)

## 循環型社会の構築(3Rの推進)

大量生産、大量消費、大量廃棄の社会構造から脱却し、限りある資源を効率的に利用し、持続可能な循環型社会を構築するため、ごみの減量化を徹底し、廃棄物の抑制、再使用、再資源化の取り組みを市民、企業、行政の協働により一層推進します。



いずも古着市

# 新たにチャレンジ

## 子育て支援施設整備

すこやかな子どもの成長、発達のため乳幼児健康診査、乳幼児健康相談、離乳食教室などの母子保健サービスを提供する場として、また近年増加している発達障がいなど様々な支援の必要な子どもたちのネットワーク拠点機能を備えた複合施設の整備を検討します。



にこにこ教室

## 学びの拠点整備

少子化の進行により小規模校が増加している中で、子どもたちにとってより望ましい教育環境を提供するためには、できる限り学校の適正規模化を図る必要があります。このため、地域・学校・保護者の理解や協力を得ながら、小中学校、幼稚園の再編の取り組みを進めます。

学校施設については、学校施設整備・耐震化基本計画に基づき、計画的に耐震化対策と老朽改築・増築・大規模改造を行い、安全で安心な学校施設の改善を図ります。

生涯学習の拠点である文化スポーツ施設については、合併前の市町において整備されたことから、地域性やその利用度、施設管理やその老朽度も様々であるため、全ての施設を今のまま存続させることは財政的にも非常に困難です。各施設の機能分担や利用者のサービス向上を図るとともに、設置目的、利用状況などから施設整備や統廃合について検討します。



向陽中学校

## 新エネルギー導入の推進(太陽光発電・小水力発電の推進、木質バイオマスの活用)

大規模太陽光発電所の立地、木質バイオマス資源を活用したボイラーや小水力発電の導入などを進め、地域資源を活用した新エネルギーの導入・利用を促進し、地域振興、産業創出を図るとともに、エネルギーの安定した供給と持続可能な低炭素社会の実現をめざします。



新出雲風力発電所

## 空き家対策

高齢化の進行に伴い、人が住まなくなった空き家が増え、管理が行き届かず、草木の繁茂や家屋の崩壊などが問題になっています。

空き家の適切な管理を行い、市民が安全に安心して暮らすことのできる環境を守るために、「空き家対策条例(仮称)」の制定をめざします。

## グリーンステップの利活用

斐伊川放水路事業の残土処理場「グリーンステップ」については、広大な用地を生かし、地域の発展に繋がるような利活用策の検討を行います。

## 次期可燃ごみ処理施設整備

出雲エネルギーセンターについては、耐用年数などを考慮し、それに替わる次期可燃ごみ処理施設の調査検討に着手し、整備を進めます。



出雲エネルギーセンター

# ■地域別のまちづくり像

地域別のまちづくり像

## 「大社地域まちづくり計画」の提言

- 1.活気あふれるまちを目指します!
- 2.だれもが明るく健康にすごせるまちを目指します!
- 3.子どもが健やかに羽ばたくまちを目指します!
- 4.心豊かな人材のあふれるまちを目指します!
- 5.だれもが心やすらぐまちを目指します!
- 6.だれもが安心して暮らせるまちを目指します!

## 「湖陵地域まちづくり計画」の提言

### 安心で住みたくなる定住のまちづくり

住民と行政との協働により心豊かな地域社会、快適住環境の整備、産業間の連携を図り、安心で住みたくなる定住のまちづくりを進めます。

- 1.心豊かな地域社会をめざしたまちづくり
- 2.豊かな自然景観と調和の取れた快適環境のまちづくり
- 3.あらゆる産業が連携する特色あるまちづくり

## 「多伎地域まちづくり計画」の提言

### 「海光り ひと輝くまち」

- 1.私たちは地域特性に着目した特産振興活動をします。
- 2.私たちは自らの手で自然と共生した快適生活環境をつくります。
- 3.私たちは人にやさしい健康的なまちづくり活動をします。
- 4.私たちは夢育む教育と地域文化の伝承活動をします。
- 5.私たちは対流を生む多様な交流活動をします。
- 6.私たちは一人ひとりが住民自立の地域運営活動をします。
- 7.私たちは住み続けたいまちづくりのために活動します。

## 「佐田地域まちづくり計画」の提言

### 文化・産業と健康・福祉の住みよい環境づくり

- 1.コミュニティ活動の推進で自立のまちづくり
- 2.福祉活動と健康づくりの推進、子育て支援の充実で安心のまちづくり
- 3.産業振興と若者の定住対策の推進で元気なまちづくり
- 4.道路・通信網など生活基盤整備の推進で強いまちづくり
- 5.文化・芸術・観光の推進で輝くまちづくり
- 6.自然と環境に配慮したやさしいまちづくり

## 海と緑を生かした地域力増進ゾーン

鵜飼コミュニティセンター  
日御碕コミュニティセンター  
大社コミュニティセンター  
市役所大社支所

## 観光都市拠点ゾーン

日本海

高浜コミュニティセンター  
遙堪コミュニティセンター

四絆コミュニティセンター

## 中核都市拠点ゾーン

神戸川  
高松コミュニティセンター  
長浜コミュニティセンター  
神門コミュニティセンター  
古志コミュニティセンター

## 観光都市拠点ゾーン

市役所多伎支所  
多伎コミュニティセンター  
多伎IC(仮称)

湖陵IC(仮称)  
市役所湖陵支所

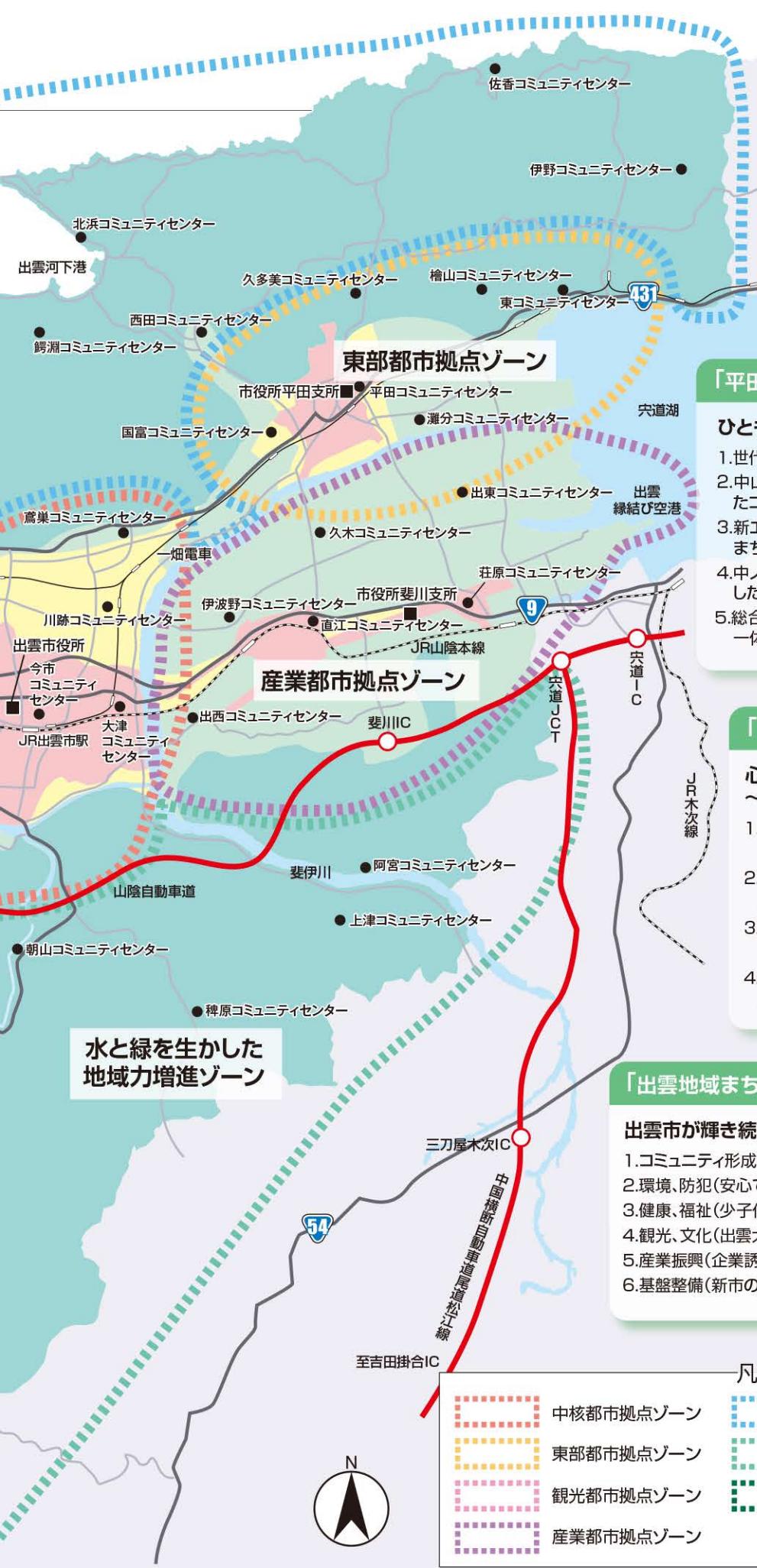
9

43

出雲IC

須佐コミュニティセンター  
市役所佐田支所  
184

## 緑の交流ゾーン



## 地域まちづくり計画

各地域のめざすまちづくりを実現するため、それぞれの地域において策定された活動計画です。

### 「平田地域まちづくり計画」の提言

#### ひとともまちも温かい平田づくり

- 1.世代を超えた人材育成によるまちづくり
- 2.中山間地域・海岸地域の魅力を最大限に活かしたコミュニティづくり
- 3.新エネルギー開発を核とした環境・経済・交流のまちづくり
- 4.中ノ島商業集積地―木綿街道―商店街等を核とした東部都市拠点づくり
- 5.総合医療センターを核とした保健・福祉・医療が一体となった福祉拠点づくり

### 「斐川地域まちづくり計画」の提言

#### 心のふるさと

#### ～未来と古代が響きあうまち ひかわ～

- 1.自然と歴史の共生と文化の香るまちづくり（自然環境保全、伝統文化・伝統芸能など）
- 2.安全・安心で快適なまちづくり（防災・防犯、子育て支援など）
- 3.産業・観光振興で元気なまちづくり（農業振興、商工業振興など）
- 4.人と地域が交流するまちづくり（地域コミュニティの活性化など）

### 「出雲地域まちづくり計画」の提言

#### 出雲市が輝き続けるために

- 1.コミュニティ形成と人材育成（地域コミュニティの再構築など）
- 2.環境、防犯（安心で安全に暮らせるまちづくりなど）
- 3.健康、福祉（少子化問題への対応など）
- 4.観光、文化（出雲大社など他地域との連携による観光振興など）
- 5.産業振興（企業誘致と若者定住対策の強化など）
- 6.基盤整備（新市の中心的機能の充実など）

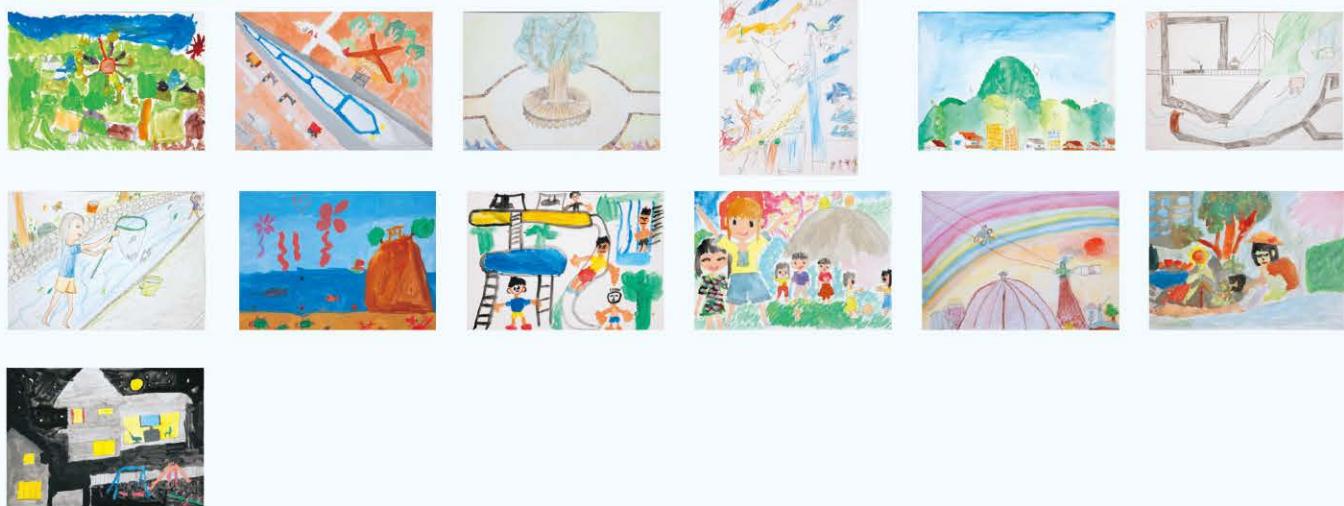
#### 凡一例

	中核都市拠点ゾーン		海と緑を生かした地域力増進ゾーン
	東部都市拠点ゾーン		水と緑を生かした地域力増進ゾーン
	観光都市拠点ゾーン		緑の交流ゾーン
	産業都市拠点ゾーン		

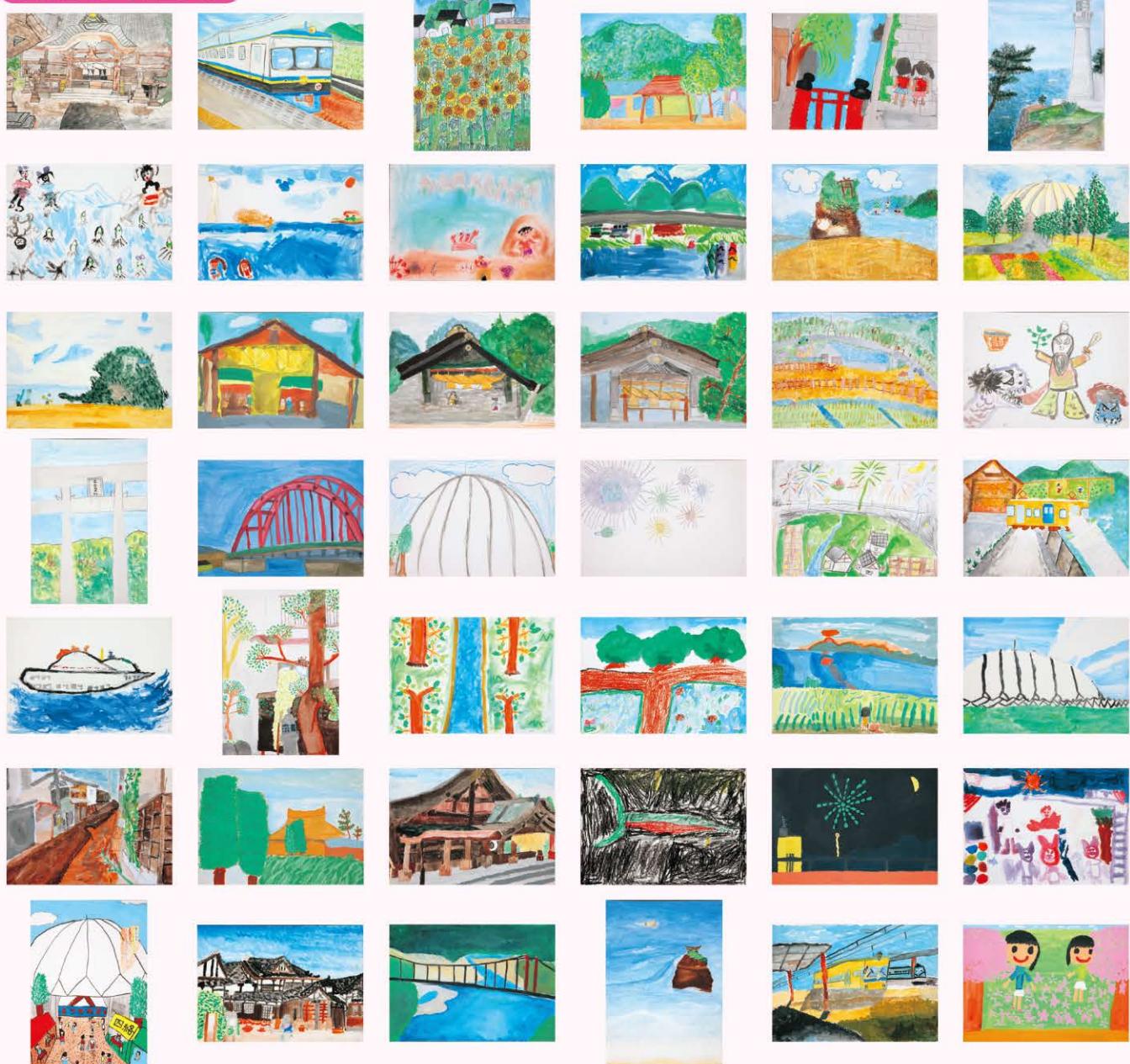
※斐川地域のコミュニティセンターは、平成25年3月までは公民館であり、同年4月から名称変更の予定。

## みんなで描こう「未来の出雲」「大好きな出雲」图画コンクール 応募作品集

未来の出雲



大好きな出雲





資料

# 市民満足度調査集計結果

## ■回答者の属性

※P14の結果の詳細です。

### ●性別

男性	576人	44%
女性	721人	55%
不明	13人	1%

### ●年齢

18~29歳	134人	10%
30歳代	194人	15%
40歳代	194人	15%
50歳代	230人	17%
60歳代	299人	23%
70歳以上	245人	19%
不明	14人	1%

### ●職業

農林水産業	63人	5%
自営業	125人	10%
会社員・団体職員	408人	31%
公務員・教員	69人	5%
アルバイト・パート	131人	10%
家事専業	188人	14%
学生	22人	2%
無職	254人	19%
その他	32人	3%
不明	18人	1%

### ●居住地域

出雲地域	718人	55%
平田地域	180人	14%
佐田地域	29人	2%
多伎地域	38人	3%
湖陵地域	30人	2%
大社地域	98人	7%
斐川地域	203人	16%
不明	14人	1%

### ●出雲市居住年数

1年未満	44人	3%
1年以上5年未満	65人	5%
5年以上10年未満	54人	4%
10年以上20年未満	136人	10%
20年以上	991人	76%
不明	20人	2%

## 施策の評価方法について

## ■重要度と満足度のスコア化

各施策の重要度、満足度について、アンケート調査結果を点数化することによって評価。

### 【計算方法】

#### ①重要度の点数化

$$\frac{[(\text{重要であると回答した数}) \times 2 \text{ 点} ] + [(\text{どちらかといえば重要であると回答した数}) \times 1 \text{ 点} ] + \\ [(\text{どちらかといえば重要でないと回答した数}) \times -1 \text{ 点} ] + [(\text{重要でないと回答した数}) \times -2 \text{ 点} ] + \\ [(\text{わからないと回答した数}) \times 0 \text{ 点} ]}{[\text{有効回答数} \times 2]} \times 100$$

#### ②満足度の点数化

$$\frac{[(\text{満足であると回答した数}) \times 2 \text{ 点} ] + [(\text{どちらかといえば満足であると回答した数}) \times 1 \text{ 点} ] + \\ [(\text{どちらかといえば満足でないと回答した数}) \times -1 \text{ 点} ] + [(\text{満足でないと回答した数}) \times -2 \text{ 点} ] + \\ [(\text{わからないと回答した数}) \times 0 \text{ 点} ]}{[\text{有効回答数} \times 2]} \times 100$$

※算出した数値を100点換算する。

※「重要(満足)である」は評価が高いので2点、「どちらかといえば重要(満足)である」は比較的評価が高いので1点、「どちらかといえば重要(満足)でない」は比較的評価が低いので-1点、「重要(満足)でない」は評価が低いので-2点、「わからない」は0点と5段階評価し、等間隔で数値化した。満足度についても同様である。

全員が重要(満足)であると答えた場合100点、全員が重要(満足)でないと答えた場合、-100点となる。

※有効回答数=総回収数-(未回答+無効回答(複数回答等))

## ■ニーズ度の評価

ニーズ度=(重要度)-(満足度)

※上記の計算方法で重要度と満足度を点数化し、重要度から満足度を引くことによってニーズ度とした。

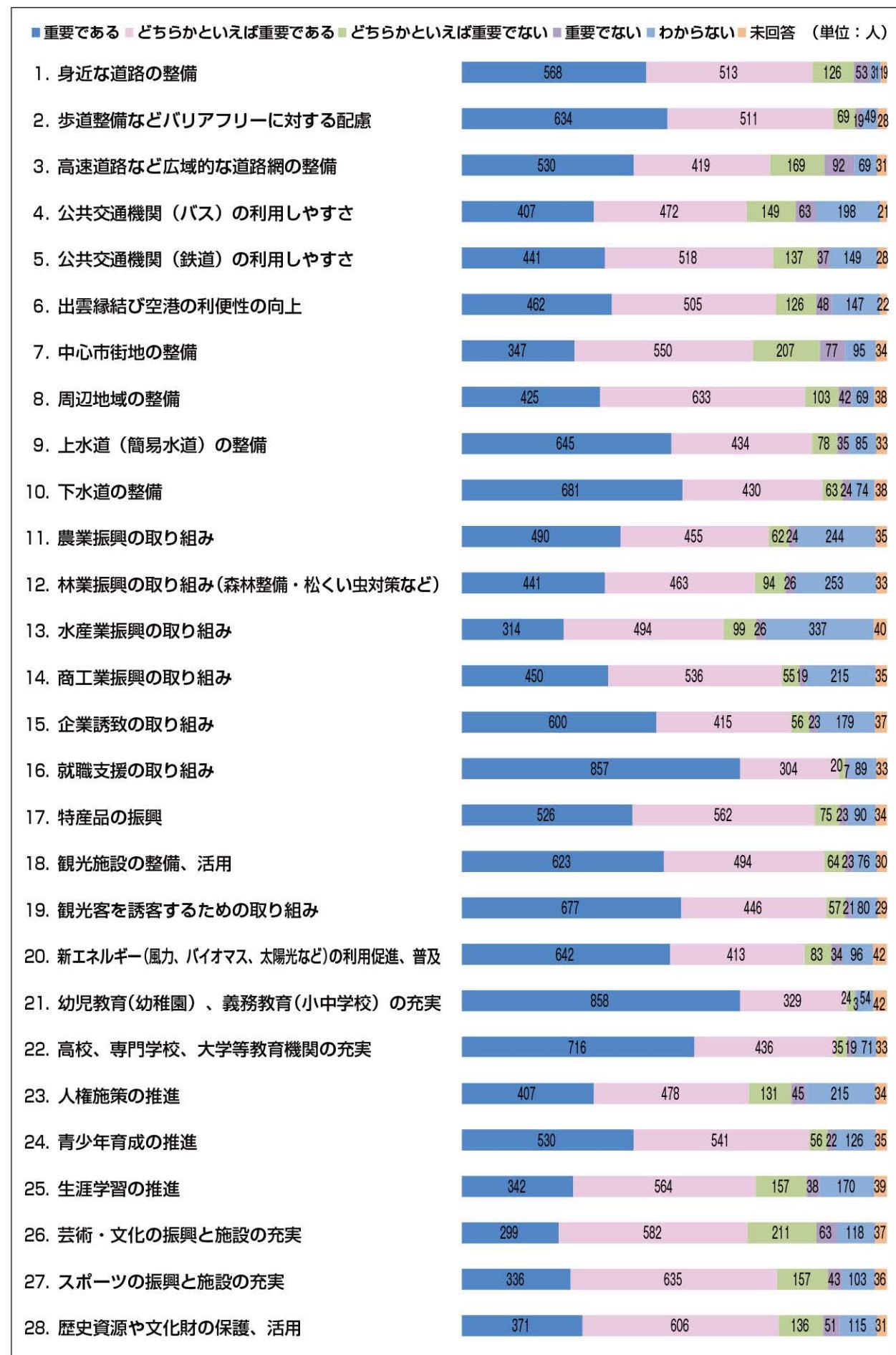
## 重要度と満足度のスコア化、ニーズ度

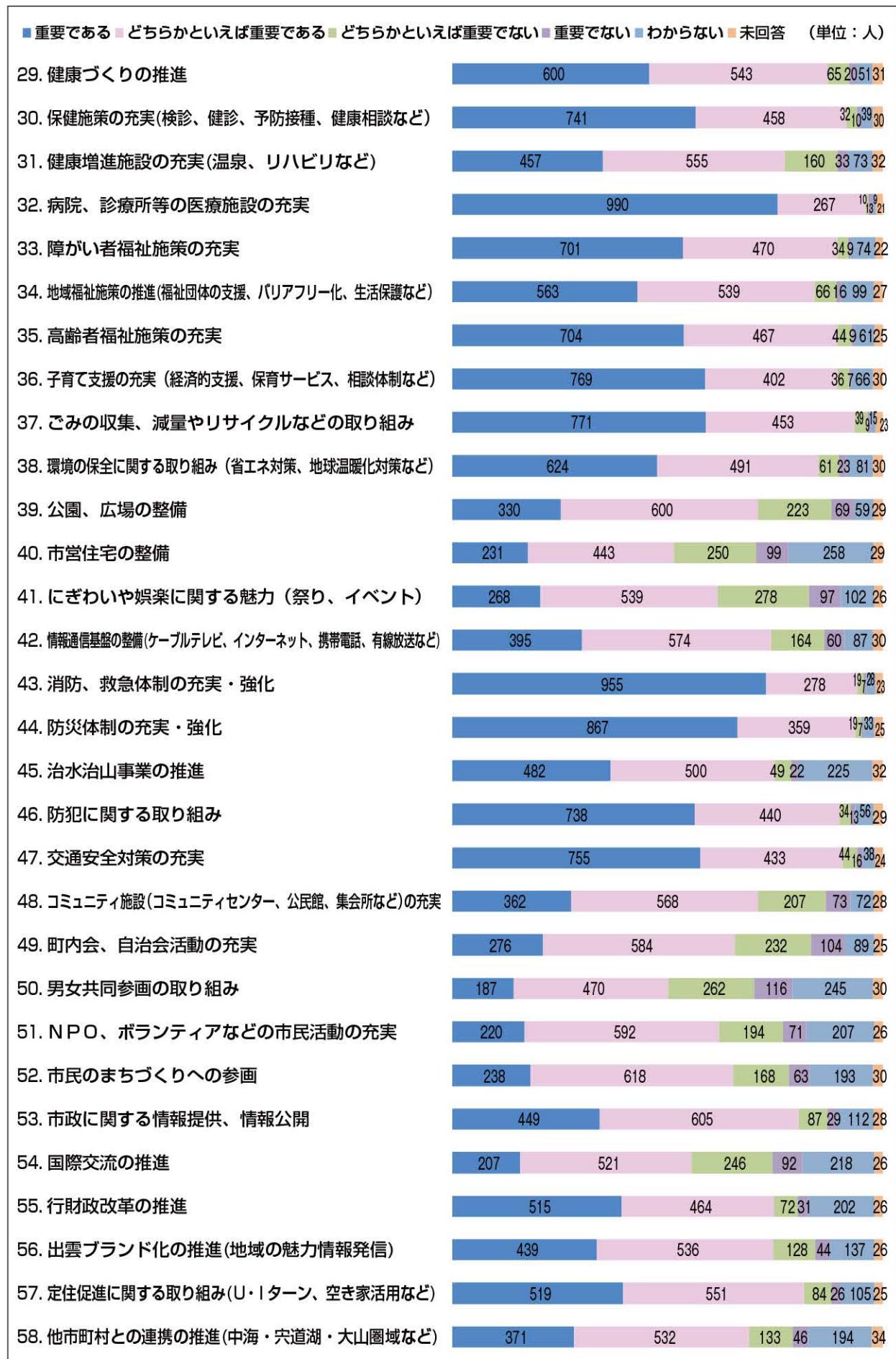
施策・取り組み	重要度		満足度		ニーズ度	
	点数	順位(高い順)	点数	順位(低い順)	点数	順位(高い順)
全施策の平均点	52.9	-	△5.6	-	58.5	-
都市基盤・機能について 〈各項目ごとの平均点〉	51.0	5	△10.2	2	61.2	4
1. 身近な道路の整備	54.9	27	△5.7	26	60.6	30
2. 歩道整備などバリアフリーに対する配慮	65.2	16	△30.0	5	95.2	3
3. 高速道路など広域的な道路網の整備	44.0	39	△21.4	14	65.4	28
4. 公共交通機関(バス)の利用しやすさ	39.2	46	△35.0	3	74.2	17
5. 公共交通機関(鉄道)の利用しやすさ	46.4	38	△21.9	11	68.3	24
6. 出雲縁結び空港の利便性の向上	46.9	35	2.2	43	44.7	41
7. 中心市街地の整備	34.6	50	△4.2	28	38.8	44
8. 周辺地域の整備	50.9	33	△21.8	12	72.7	21
9. 上水道(簡易水道)の整備	61.7	20	29.9	58	31.8	48
10. 下水道の整備	66.1	15	5.8	47	60.3	31
産業・経済について 〈各項目ごとの平均点〉	57.7	3	△25.8	1	83.5	1
11. 農業振興の取り組み	52.0	32	△17.0	16	69.0	23
12. 林業振興の取り組み(森林整備・松くい虫対策など)	46.9	36	△25.8	8	72.7	20
13. 水産業振興の取り組み	38.2	47	△9.9	21	48.1	39
14. 商工業振興の取り組み	52.7	31	△23.6	9	76.3	14
15. 企業誘致の取り組み	59.4	23	△31.5	4	90.9	5
16. 就職支援の取り組み	77.7	5	△46.3	1	124.0	1
17. 特産品の振興	58.5	25	△17.1	15	75.6	15
18. 観光施設の整備、活用	63.7	19	△22.7	10	86.4	6
19. 観光客を誘客するための取り組み	66.4	14	△26.7	6	93.1	4
20. 新エネルギー(風力、バイオマス、太陽光など)の利用促進、普及	61.0	22	△37.5	2	98.5	2
教育・文化について 〈各項目ごとの平均点〉	51.1	4	0.5	4	50.6	5
21. 幼児教育(幼稚園)、義務教育(小中学校)の充実	79.5	4	0.4	37	79.1	10
22. 高校・専門学校、大学等教育機関の充実	70.3	13	△2.8	32	73.1	19
23. 人権施策の推進	42.0	42	△3.9	29	45.9	40
24. 青少年育成の推進	58.9	24	△8.4	23	67.3	27
25. 生涯学習の推進	39.9	45	△2.0	33	41.9	42
26. 芸術・文化の振興と施設の充実	33.1	51	3.7	45	29.4	50
27. スポーツの振興と施設の充実	41.8	43	1.9	42	39.9	43
28. 歴史資源や文化財の保護、活用	43.4	40	15.0	53	28.4	51

施策・取り組み	重要度		満足度		ニーズ度	
	点数	順位(高い順)	点数	順位(低い順)	点数	順位(高い順)
健康・福祉について 〈各項目ごとの平均点〉	68.5	2	2.2	5	66.3	3
29. 健康づくりの推進	64.0	17	8.8	48	55.2	35
30. 保健施策の充実(検診、健診、予防接種、健康相談など)	73.8	7	14.6	52	59.2	32
31. 健康増進施設の充実(温泉、リハビリなど)	48.6	34	12.6	50	36.0	45
32. 病院、診療所等の医療施設の充実	85.8	1	18.4	54	67.4	26
33. 障がい者福祉施策の充実	70.7	11	△6.5	25	77.2	12
34. 地域福祉施策の推進(福祉団体の支援、バリアフリー化、生活保護など)	61.1	21	△7.1	24	68.2	25
35. 高齢者福祉施策の充実	70.5	12	△10.8	20	81.3	9
36. 子育て支援の充実(経済的支援、保育サービス、相談体制など)	73.8	8	△12.3	19	86.1	7
生活環境について 〈各項目ごとの平均点〉	43.0	6	4.4	6	38.5	7
37. ごみの収集、減量やリサイクルなどの取り組み	75.3	6	26.1	56	49.2	38
38. 環境の保全に関する取り組み(省エネ対策、地球温暖化対策など)	63.8	18	△9.7	22	73.5	18
39. 公園、広場の整備	35.1	49	0.6	38	34.5	47
40. 市営住宅の整備	17.8	57	0.2	36	17.6	55
41. にぎわいや娯楽に関する魅力(祭り、イベント)	23.5	55	△1.9	34	25.4	52
42. 情報通信基盤の整備(ケーブルテレビ、インターネット、携帯電話、有線放送など)	42.2	41	11.2	49	31.0	49
安心・安全について 〈各項目ごとの平均点〉	72.5	1	5.0	7	67.5	2
43. 消防、救急体制の充実・強化	83.7	2	27.2	57	56.5	33
44. 防災体制の充実・強化	80.2	3	1.4	41	78.8	11
45. 治水治山事業の推進	53.6	28	△0.1	35	53.7	36
46. 防犯に関する取り組み	72.4	10	△4.5	27	76.9	13
47. 交通安全対策の充実	72.6	9	1.0	39	71.6	22
まちづくり、行政サービスについて 〈各項目ごとの平均点〉	36.9	7	△3.6	3	40.5	6
48. コミュニティ施設(コミュニティセンター、公民館、集会所など)の充実	36.6	48	22.6	55	14.0	57
49. 町内会、自治会活動の充実	27.1	53	12.6	51	14.5	56
50. 男女共同参画の取り組み	13.7	58	2.8	44	10.9	58
51. NPO、ボランティアなどの市民活動の充実	27.1	54	4.2	46	22.9	53
52. 市民のまちづくりへの参画	31.3	52	△3.2	31	34.5	46
53. 市政に関する情報提供、情報公開	53.0	29	△3.3	30	56.3	34
54. 国際交流の推進	19.7	56	1.1	40	18.6	54
55. 行財政改革の推進	53.0	30	△21.5	13	74.5	16
56. 出雲ブランド化の推進(地域の魅力情報発信)	46.7	37	△16.7	17	63.4	29
57. 定住促進に関する取り組み(U・Iターン、空き家活用など)	56.5	26	△25.9	7	82.4	8
58. 他市町村との連携の推進(中海・宍道湖・大山圏域など)	41.1	44	△12.4	18	53.5	37

《網かけ の部分は、各重要度、満足度、ニーズ度において、上位10位を示すものです》

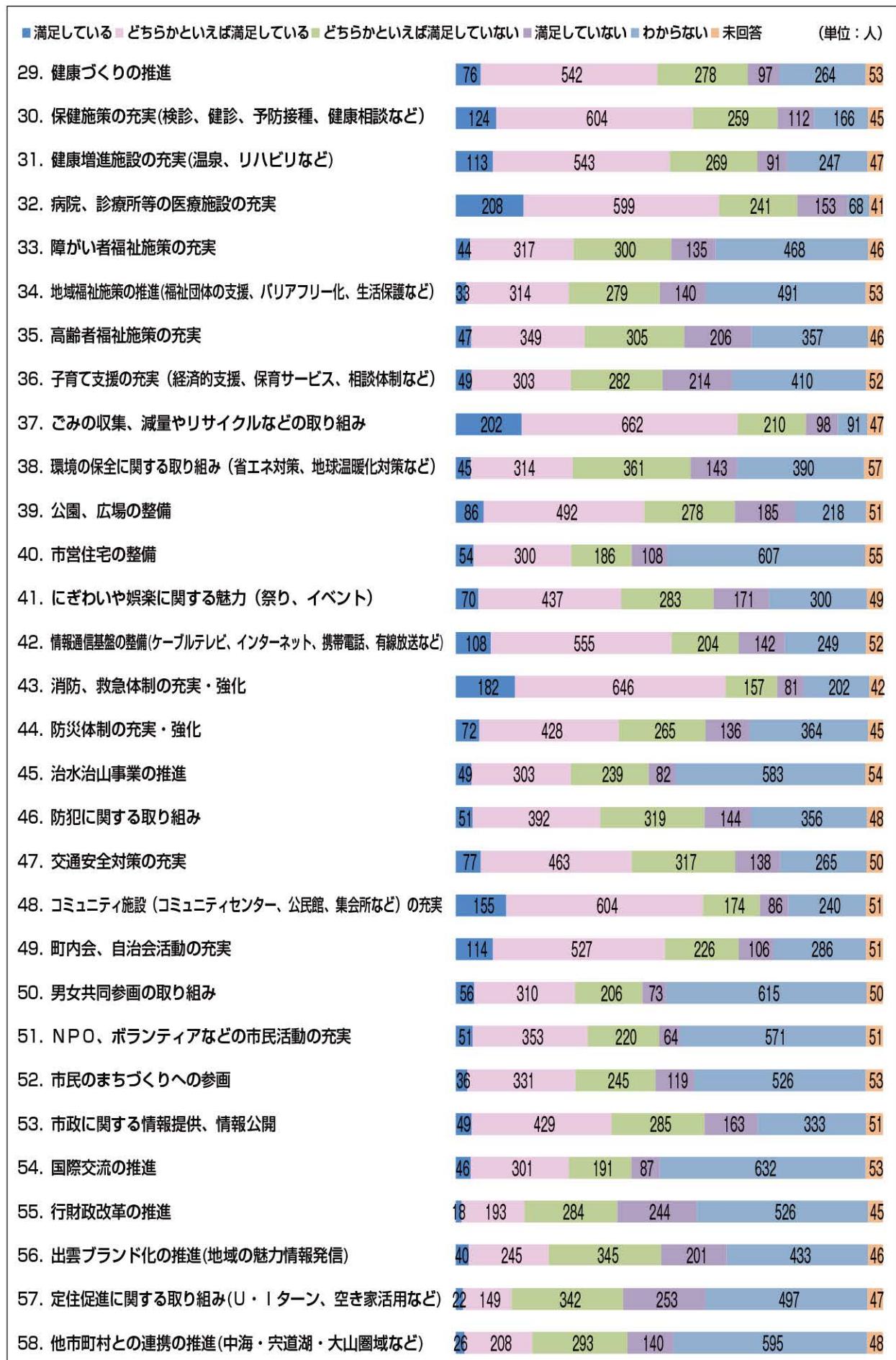
## 重要度の結果





## 満足度の結果

	■満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	■満足していない	■わからない	未回答	(単位：人)
1. 身近な道路の整備	90	520	350	247	55	48	
2. 歩道整備などバリアフリーに対する配慮	32	288	469	317	145	59	
3. 高速道路など広域的な道路網の整備	63	352	360	326	148	61	
4. 公共交通機関（バス）の利用しやすさ	31	178	315	406	337	43	
5. 公共交通機関（鉄道）の利用しやすさ	57	312	320	329	244	48	
6. 出雲縁結び空港の利便性の向上	81	457	280	141	309	42	
7. 中心市街地の整備	76	475	326	203	177	53	
8. 周辺地域の整備	41	349	439	268	152	61	
9. 上水道（簡易水道）の整備	263	570	148	98	180	51	
10. 下水道の整備	211	419	220	237	171	52	
11. 農業振興の取り組み	26	211	317	185	509	62	
12. 林業振興の取り組み（森林整備・松くい虫対策など）	21	150	321	258	501	59	
13. 水産業振興の取り組み	17	185	267	100	682	59	
14. 商工業振興の取り組み	17	180	366	219	469	59	
15. 企業誘致の取り組み	24	154	371	310	394	57	
16. 就職支援の取り組み	15	98	359	464	316	58	
17. 特產品の振興	36	315	380	218	307	54	
18. 観光施設の整備、活用	42	311	418	276	217	46	
19. 観光客を誘客するための取り組み	38	237	412	288	291	44	
20. 新エネルギー（風力、バイオマス、太陽光など）の利用促進、普及	23	137	354	383	351	62	
21. 幼児教育（幼稚園）、義務教育（小中学校）の充実	84	467	275	175	244	65	
22. 高校、専門学校、大学等教育機関の充実	61	457	304	173	267	48	
23. 人権施策の推進	39	286	265	98	564	58	
24. 青少年育成の推進	35	290	324	123	481	57	
25. 生涯学習の推進	44	335	276	98	496	61	
26. 芸術・文化の振興と施設の充実	72	448	284	108	344	54	
27. スポーツの振興と施設の充実	73	461	311	124	285	56	
28. 歴史資源や文化財の保護、活用	119	517	217	81	323	53	



# まちづくり高校生アンケート集計結果

## 《アンケート調査の概要》

### 1. 調査の目的

このアンケートは、新たな出雲市総合振興計画策定の参考とするため、出雲市内の高校生の皆さんを対象に、現在の出雲市や将来に対する思いや考え、まちづくりへの提案などを調査したものです。

### 2. 調査の実施方法

- 調査対象：出雲市内の高等学校 9 校 \*各学校において、約40名（1クラス）を選定して実施。
  - 回収数：310人
  - 調査方法：学校を通じて配付・回収（回答は無記名）
  - 実施期間：平成24年7～8月
- ※問2、問7については、平成10年1月に旧出雲市で実施した「21世紀出雲のグランドデザイン」高校生アンケートでも同様の調査を行っており、その比較を行っています。

### 【問1】回答者の属性

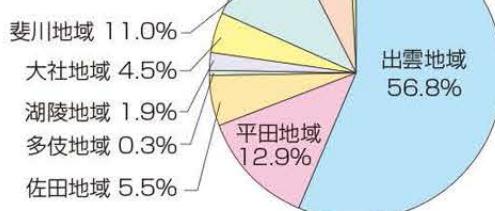
- (1)性別
- 男性 151人
  - 女性 158人
  - 未回答 1人
- 計310人



- (2)学年
- 1年生 44人
  - 2年生 120人
  - 3年生 144人
  - 未回答 2人
- 計310人



- (3)居住地区
- | 地域   | 人数   |
|------|------|
| 出雲地域 | 176人 |
| 平田地域 | 40人  |
| 佐田地域 | 17人  |
| 多伎地域 | 1人   |
| 湖陵地域 | 6人   |
| 大社地域 | 14人  |
| 斐川地域 | 34人  |
| その他  | 21人  |
- 計310人



### 【参考】

右側のグラフは、旧出雲市の「21世紀出雲のグランドデザイン」高校生アンケート結果(平成10年1月実施)

- (1)性別
- 男性 88人
  - 女性 111人
- 計199人



- (2)学年
- 1年生 118人
  - 2年生 81人
- 計199人

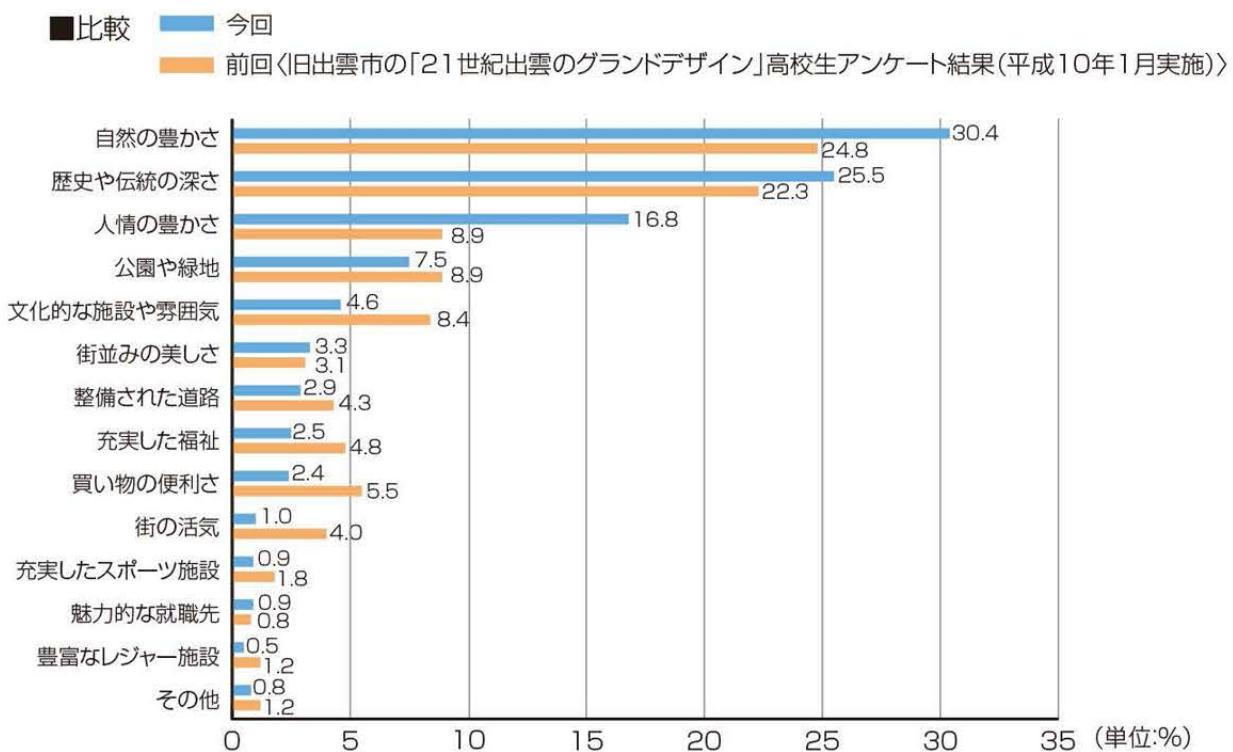


- (3)居住地区
- | 地域  | 人数   |
|-----|------|
| 出雲市 | 127人 |
| 平田市 | 16人  |
| 佐田町 | 7人   |
| 多伎町 | 8人   |
| 湖陵町 | 5人   |
| 大社町 | 13人  |
| 斐川町 | 23人  |
- 計199人

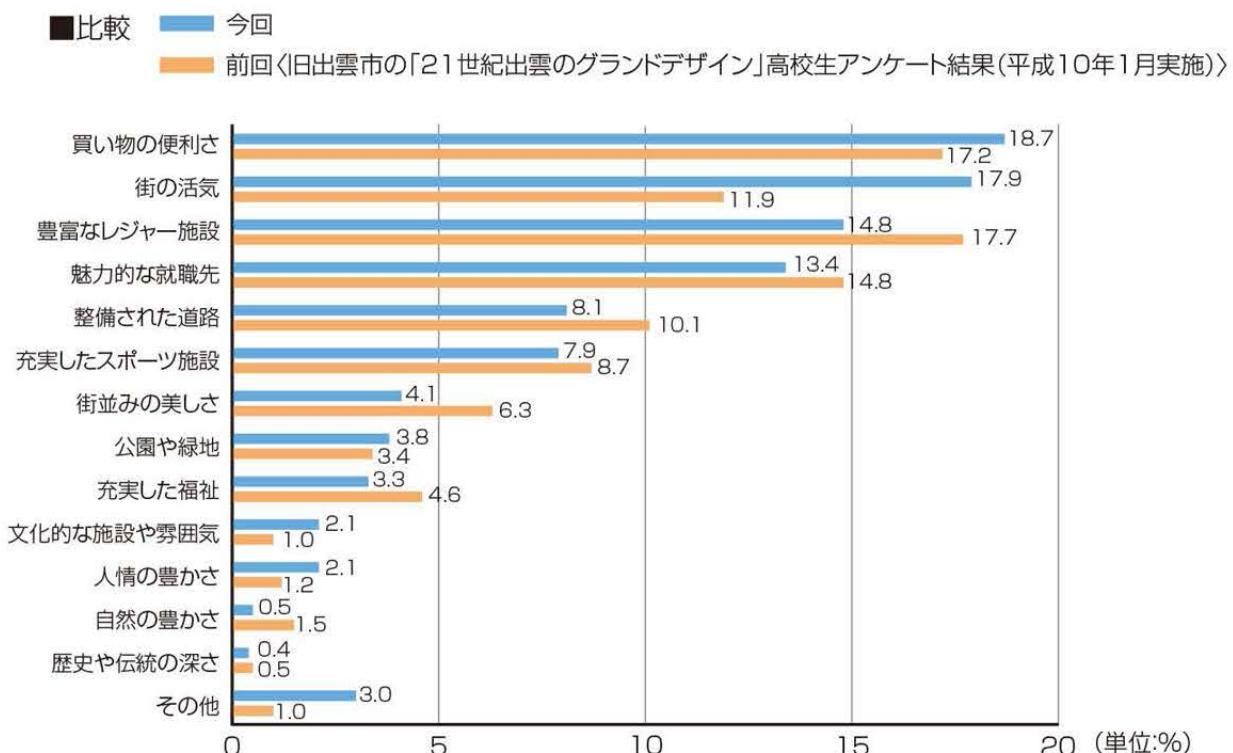


## 【問2】出雲市をどんなまちだと思いますか。

(1)出雲市の魅力と思う項目 ※複数回答可(1人3件まで)



(2)出雲市に不足していると思う項目 ※複数回答可(1人3件まで)



### 【問3】出雲市の「良いところ、自慢や誇りに思うところ」は何ですか

※複数回答可

区分	件数	主な意見
自然環境	164	自然が豊かで、緑があふれている。 空気がきれい、澄んでいる。
歴史・伝統・文化遺産	150	出雲大社がある。 歴史が古く深い。
人情・地域のつながり	78	人情が豊かでみんな優しく温かい。 たくさんの人とあいさつを交わすことができる。
安全・安心	19	災害の被害が少ない。 平和なところ。大きな犯罪もなく安心して暮らせる。
景観・街なみ	16	景観・街なみが美しい。 古い街なみが残っている。木綿街道周辺が素敵。
居住環境	12	静かで落ち着く。 のんびりとした時間の流れでゆっくり生活できる。
特産物	10	シジミ、出雲そばなど食べ物がおいしい。 せんざい発祥の地である。
その他	46	スポーツ施設が充実している。 医療・福祉施設が充実している。
計	495	

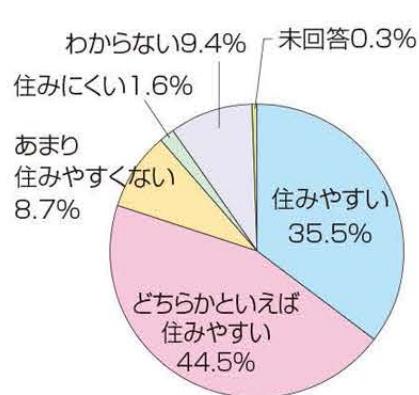
### 【問4】出雲市の「悪いところ、良くなってほしいところ」は何ですか

※複数回答可

区分	件数	主な意見
商業施設	89	大型ショッピングセンターやお店が少ない。 買い物をするところが遠く不便である。
レジャー施設	55	レジャー施設や若者が遊ぶところが少ない。 遊園地、テーマパーク、動物園などがほしい。
活気・人口	51	まちに活気がない。 商店街が静かで活気がない。
道路整備	43	舗装整備がされていないところがたくさんある。 歩道が狭い、若しくはないところがある。
交通機関	32	交通の便が悪い。 バス、電車の本数が少なく、料金が高い。
就職先	16	魅力的な就職先が少ない。
街灯・防犯灯	16	街灯が少なく、夜道が暗くて危ない。
ポイ捨て・ゴミ	12	ポイ捨てが多く、ゴミが捨てられている。
スポーツ施設	11	スポーツ施設が少ない。
その他	131	自然が減っている。川が汚い。 高齢者が多い割に福祉施設が不足している。
計	456	

### 【問5】出雲市は住みやすいまちだと思いますか

- |        |      |                |      |             |     |
|--------|------|----------------|------|-------------|-----|
| ①住みやすい | 110人 | ②どちらかといえば住みやすい | 138人 | ③あまり住みやすくない | 27人 |
| ④住みにくい | 5人   | ⑤わからない         | 29人  | ⑥未回答        | 1人  |
- (計310人)



#### 【主な意見】

##### ①住みやすい理由

- ・自然が豊か、環境がいい、  
空気がきれいだから
- ・住み慣れていて落ち着くから  
・人が優しいから

##### ②どちらかといえば住みやすい理由

- ・自然が豊かだが、交通が不便だから  
・住みやすいが、もう少し活気がほしいから  
・都会と比較して住みやすいから

##### ③あまり住みやすくない理由

- ・交通が不便だから  
・お店やレジャー施設が少ないから

##### ④住みにくい理由

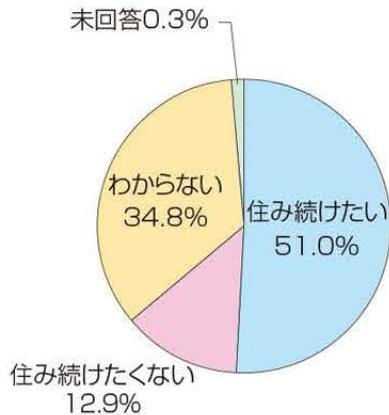
- ・山が多すぎるから  
・田舎すぎるから

##### ⑤わからない理由

- ・市外と比較ができないから  
・よいところも悪いところもあるから

## 【問6】これからも出雲市に住み続けたいと思いますか

①住み続けたい …… 158人 ②住み続けたくない …… 40人 ③わからない …… 108人 ④未回答 …… 4人  
(計310人)



### 【主な意見】

- ①住み続けたい理由
- ・住み慣れている、住みやすいから
  - ・自然が豊か、環境がよいから
  - ・出雲(地元)が好きだから
  - ・よいまちだから
  - ・地元に貢献したいから
  - ・安全、安心なまちだから
  - ・県外(市外)に住みたくないから
  - ・人柄がよいから

### ②住み続けたくない理由

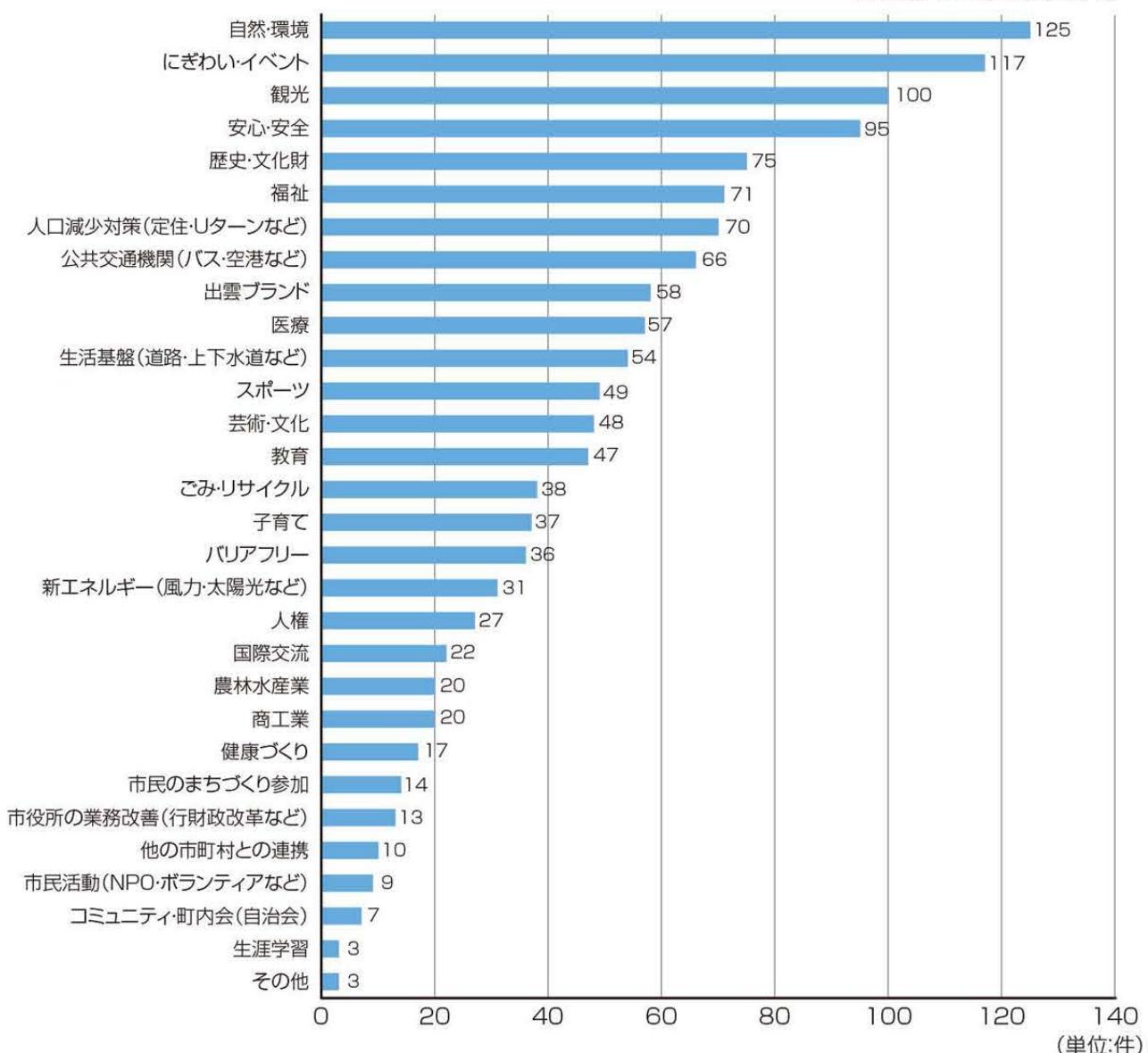
- ・都会(市外)に住みたいから
- ・田舎だから
- ・よいまちだと思わないから
- ・仕事先、就職先がないから
- ・まちに活気がないから

### ③わからない理由

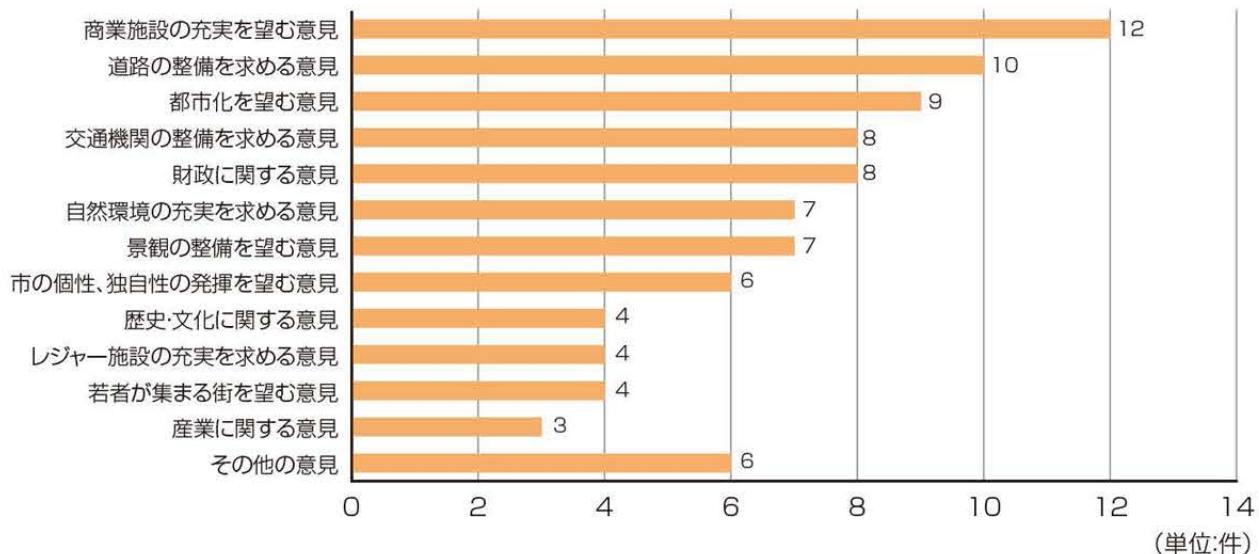
- ・都会や他のまちにも住んでみたいから
- ・就職先、進学先によるから
- ・よいところも悪いところもあるから

## 【問7】「出雲市がめざすまちの姿を現す言葉(キーワード)」や「大切にしてほしい」と思うこと

※複数回答可(1人5件まで)



■旧出雲市の「21世紀出雲のグランドデザイン」高校生アンケート結果(平成10年1月実施)



【問8】自由提案

将来の出雲市に「こんなまちになってほしい」、「こんなものがあつてほしい」と思うこと、出雲市をより良いまちにするためのアイデアや意見をいただきました。

区分	件数	主な意見
レジャー施設の充実	28	遊園地、テーマパーク、動物園、水族館をつくってほしい。 レジャー施設をもっとつくってほしい。
商業施設の充実	22	子どもから大人まで楽しめるショッピングセンターがほしい。 ショッピングモールをつくってほしい。
活気あるまちづくり	13	若い人が住みたいと思うような活気のあるまちになってほしい。 若い人が多くいて平和に暮らせるまちになってほしい。
祭り・イベントの充実	12	もっと祭りを増やし、かつ大きな祭りにする。 みんなでワイワイ楽しめる企画があればもっといい。
交通安全・防犯対策の充実	12	街灯を増やして安心できるまちをつくってほしい。 事件・事故がないまちにしてほしい。
自然環境の保護	11	自然を大切にするまち、もっと自然が残るまちにしてほしい。 自然がもっと豊かになればよいと思う。
観光振興の充実	10	もう少し観光スポットが増えてほしい。 観光に来たくなるような楽しい(明るい)まちにしてほしい。
市のよさ(個性・独自性)を活用	9	もっと他県に出雲市のいいところを知ってほしい。 名物などの全国的アピール。
交通機関の充実	8	身近な交通機関が便利になってほしい。 電車の本数を増やしてほしい。電車賃を安くしてほしい。
福祉施策の充実	8	保育園や福祉施設を増やす。 福祉の充実に力をつくしてほしい。
都会化	5	都会的なものを取り入れる。 東京を超える都市になってほしい。
スポーツ振興の充実	5	子どもから大人まで楽しめるようなスポーツ施設をつくってほしい。 プロ野球やプロサッカーの選手などが使用できる大きなスタジアムを作り、 スポーツでまちを盛り上げていってほしい。
教育振興の充実	4	市内の学校をもっと新しくしてほしい。 教育をもっとしっかりしてほしい。
少子化対策の充実	3	もっと大たちに子どもを増やしてもらって少子化を防ぎたい。 もっと婚活を盛んにしたらいい。
雇用対策の充実	3	就職先、進学先(専門学校、大学)を増やす。 就職先を増やせば県外から多くの人が集まり人口減少対策にもなる。
その他	38	若い人たちに伝統工芸を継いでもらいたい。 豊かで平和なまちになっていてほしい。
計	191	

## 各種施策の基本方針となる個別計画・構想等一覧表

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
前期基本計画	平成25年3月 (策定予定)	平成24年度	平成28年度	新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』の実現をめざし、今後5年間の基本的な施策・事業を具体的かつ体系的に定めた計画
出雲市財政計画 (中期財政計画・長期財政見通し)	平成24年12月	平成25年度	平成34年度	新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』の実施計画及び長期財政見通しによる今後10年間の財政計画

### ■安全・安心都市の創造

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
出雲市危機管理指針	平成24年5月	毎年改定	-	市の危機管理の基本指針。危機に対する総合的かつ計画的な対策を定めた計画
出雲市緊急事態等対処計画	平成24年5月	毎年改定	-	市民生活におけるあらゆる脅威等によって発生する緊急事態に対処するための対策を定めた計画
出雲市地域防災計画	平成24年5月	毎年改定	-	市における防災に関する基本的事項を定めた計画
出雲市原子力災害暫定行動計画	平成24年5月	毎年改定	-	島根原子力発電所で原子力事故が発生した場合に備えた暫定行動計画
出雲市水防計画	平成24年5月	毎年改定	-	水防業務の調整及びその円滑な実施のための事項を定めた計画
出雲市国民保護計画	平成24年5月	毎年改定	-	国民保護措置を的確かつ迅速に推進するための事項を定めた計画
一畠電車支援計画	平成23年7月	平成23年度	平成27年度	一畠電車の安全性確保やサービス向上を図るため、一畠電車沿線地域対策協議会が策定した支援計画
出雲市都市計画マスター プラン	平成22年2月	平成22年度	平成40年度	市の都市計画に関する基本的な方針として、地域別の市街地像や整備方針及び都市施設の計画等を定めた総合的な計画
出雲市景観計画	平成20年3月	平成20年度	-	市の景観づくりの方向を明らかにし、将来にわたって出雲らしい景観づくりの指針を示す計画
出雲市水道ビジョン	平成21年3月	平成21年度	平成30年度	簡易水道事業の上水道事業への統合を踏まえ、円滑な事業運営と経営の健全化を図るため、水道事業が取り組むべき課題、目標や実現方策等をまとめた計画
出雲市汚水処理整備計画	平成18年12月 平成24年9月 (計画統合)	平成18年度	-	公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合処理排水事業及び合併処理浄化槽により、効率的かつ計画的な汚水処理整備を推進するための計画

資料

### ■産業・観光都市の創造

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
出雲市農業振興計画	平成25年3月 (策定予定)	平成24年度	平成33年度	市における農業振興の基本方針などを定めた計画
出雲市農業経営基盤強化促進基本構想	出雲市 平成22年4月 旧斐川町 平成22年5月	平成22年度	平成27年度	農業経営の基盤を強化するため、効率的かつ安定的な農業経営の指標及びその実現に向けた方策、目標を定めた構想
出雲農業振興地域整備計画	平成25年3月 (策定予定)	平成24年度	平成33年度	土地の有効利用と農業の健全な発展を図るため、優良農地の確保を中心とした総合的かつ計画的な農業の振興方策を定めた計画

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
出雲市森林整備計画	平成25年4月 (策定予定)	平成25年度	平成35年度	森林整備の基本的な考え方や地域の実情に即した森林整備を推進するための森林施業の標準的な方法及び森林の保護等の規範等の考え方等を定めた計画
出雲市森林経営計画	平成24年4月	平成24年度	平成28年度	出雲市森林整備計画の実現に寄与するため、持続可能な森林経営と森林保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることを目的とした計画
出雲市松くい虫対策・森林再生等基本方針	平成24年3月	平成24年度	平成28年度	松くい虫防除対策及び森林・里山の保全・再生するための基本的な考え方を示すとともに、防除方法や森林再生方法等の技術的な指針を定めた方針
出雲市鳥獣被害防止計画	平成23年4月	平成23年度	平成25年度	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止等を総合的かつ効果的に実施するための方針等を定めた計画
出雲市シカ対策基本計画	平成21年1月	平成21年度	平成25年度	鳥獣被害防止対策の中でも特に対策の強化が必要であるシカ対策について、基本的な方針を定めた計画
観光基本計画	平成21年1月	平成21年度	平成30年度	観光政策の指針等を定めた計画

## ■環境・文化都市の創造

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
第2次出雲市環境基本計画	平成25年3月 (策定予定)	平成25年度	平成34年度	環境に係る総合的かつ中長期的な施策の方向、その他環境の保全及び創造のために必要な事項について定めた計画
第2次出雲市ごみ処理基本計画	平成25年3月 (策定予定)	平成25年度	平成34年度	ごみ処理に係る長期的な視点に立った基本方針を明確にし、ごみ処理に関する必要な事項について定めた計画
出雲市トキによるまちづくり構想	平成23年8月	平成23年度	-	国の野生復帰事業の一翼を担い、トキをシンボルとし、人と自然が共生できるまちづくりをめざす構想
神西湖水環境保全指針	平成17年3月	-	-	神西湖の水環境の保全、復元及び創造をめざし、自主的な水環境保全活動を展開していくための指針
出雲市次世代エネルギーパーク整備計画	平成20年2月	平成20年度	平成30年度	新エネルギー関連施設や学習・情報発信機能を有する施設を相互に連携し、市内全域をエネルギーパークとして整備することを目的とした計画
出雲市バイオマスタウン構想	平成22年3月	平成22年度	平成26年度	市内に存在するバイオマス資源の利活用策の基本方針を定めた構想
出雲市バイオマス活用推進計画	平成25年3月 (策定予定)	平成25年度	平成34年度	バイオマスタウン構想における利活用策を推進するための具体的な取組等を定めた計画
出雲市地域省エネルギービジョン	平成20年2月	平成20年度	平成28年度	市民・事業者・市が協働して省エネルギー対策や地球温暖化対策などに係る取組を推進するための行動指針
いつもエコオフィス・アクションブログラムⅢ	平成24年3月	平成24年度	平成33年度	市の事務及び事業の実施による環境への負荷の低減に向けた実行計画
出雲市芸術文化振興指針	平成23年3月	平成23年度	平成26年度	市政と行政の共働による市の芸術文化の振興に関する基本的な考え方を定めた指針
出雲市スポーツ振興基本計画	平成18年3月 平成23年3月 (見直し)	平成17年度	平成26年度	スポーツによる、まちづくり・ひとづくり・ネットワークづくりを基本方針とし、スポーツ振興を図るために基本施策、アクションプログラムを定めた計画

## ■交流拠点都市の創造

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
第1次幹線市道整備 10か年計画	平成20年1月	平成20年度	平成29年度	平成29年度までの市内の幹線市道の整備計画
出雲市橋梁長寿命化修繕計画	平成22年10月	平成22年度	-	計画的かつ予防的な対応により、橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに要するコストの縮減を図る計画

## ■健康・福祉都市の創造

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
出雲市健康増進計画	平成20年3月 平成25年3月 (改訂予定)	平成20年度	平成29年度	健康なライフスタイルと健康なまちづくりの実現に向け、市民が主体的に健康づくりに取り組み、生涯を通じて輝いて生きる社会をめざす計画
第2次出雲市食育のまちづくり推進計画	平成24年3月	平成24年度	平成28年度	食をめぐる諸課題解決に向け、市民・関係機関・団体・行政の協働による食育のまちづくりをめざす計画
第2次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画	平成25年3月 (策定予定)	平成25年度	平成29年度	地域福祉を推進し、ぬくもりのある福祉のまちづくりをめざすために、行政の地域福祉計画と出雲市社会福祉協議会の活動指針となる地域福祉活動計画をあわせた計画
第3期出雲市障がい福祉計画	平成24年3月	平成24年度	平成26年度	障がい者福祉の地域課題の改善を図るため、改善に向けての方向性とサービス数値目標を掲げ、障がいがあつても地域で暮らし続けるための指針となる計画
出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第5期)	平成24年3月	平成24年度	平成26年度	高齢者保健・福祉・介護施策の総合的推進の基本方針を定めた計画
出雲市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第2期)	平成25年3月 (策定予定)	平成25年度	平成29年度	国の「特定健康診査等基本指針」に基づき、出雲市国民健康保険における特定健康診査及び特定保健指導の具体的な実施方法等を定めた計画
出雲市立総合医療センター改革プラン	平成21年3月 平成24年11月 (改訂)	平成21年度	平成29年度	地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、抜本的な改革の取り組みや経営の効率化に向けた年次的な取り組み、数値目標を定めたプラン

## ■人材育成都市の創造

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
いきいきこどもプラン ～いつも次世代育成支援行動計画(後期計画)～	平成22年3月	平成22年度	平成26年度	すべての子育て家庭と子どもたちを対象に、次世代育成支援対策の目標や方向性を示す計画
出雲市子ども・若者ビジョン	平成24年10月	平成24年度	平成28年度	家庭・地域社会・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしつつ、ともに連携協力し、困難を抱える子ども・若者をはじめ、すべての子ども・若者を育成支援するための行動方針
出雲市子ども読書活動推進計画	平成19年11月	平成20年度	平成24年度	公共図書館、家庭、学校、地域などが連携し、子ども読書活動の推進を図る計画
出雲市人権施策推進基本方針	平成20年3月 平成25年3月 (改訂予定)	平成19年度 平成24年度	-	同和問題をはじめ、様々な個別的人権課題に対応し、人権教育・啓発を総合的、計画的に推進するための指針となる計画
第2次出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画	平成25年3月 (策定予定)	平成24年度	平成28年度	男女共同参画のまちづくり実現のための施策について、総合的かつ計画的に実施するための計画

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
第2次出雲市DV(配偶者からの暴力)対策基本計画	平成24年3月	平成24年度	平成26年度	配偶者からの暴力防止と被害者の自立支援等の総合的な施策展開を行うための計画
出雲市教育振興計画	平成23年5月	平成23年度	平成26年度	出雲市教育の基本方針と施策を定めた計画
出雲市幼稚園事業計画	平成24年3月	平成24年度	平成26年度	出雲市教育振興計画に基づき、教育委員会が所管する幼稚園で実施する事業計画
出雲市立小中学校再編方針	平成24年9月	平成24年度	平成34年度	小中学校の適正規模校化を図り、子どもたちにとってより望ましい教育環境を整備する学校再編方針
出雲市学校施設整備・耐震化基本計画	平成24年3月	平成24年度	平成38年度	学校施設の現状と課題を把握し、学校施設整備の計画基準を明確化するとともに、学校施設整備・耐震化の基本方針を示す計画
出雲市郷土資料活用計画	平成21年2月	平成21年度	平成25年度	地域の貴重な資源である郷土資料の収集・整理・保存及び活用を図る計画

## ■行政改革の推進

個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
21世紀出雲市行財政改革大綱	平成17年12月	平成17年度	平成26年度	合併後概ね10年間における行財政改革の大綱
21世紀出雲市行財政改革第2期実施計画	平成22年6月	平成22年度	平成26年度	21世紀出雲市行財政改革大綱に基づき、後期5年間に実施する取り組みの内容等を定めた計画

## ■その他

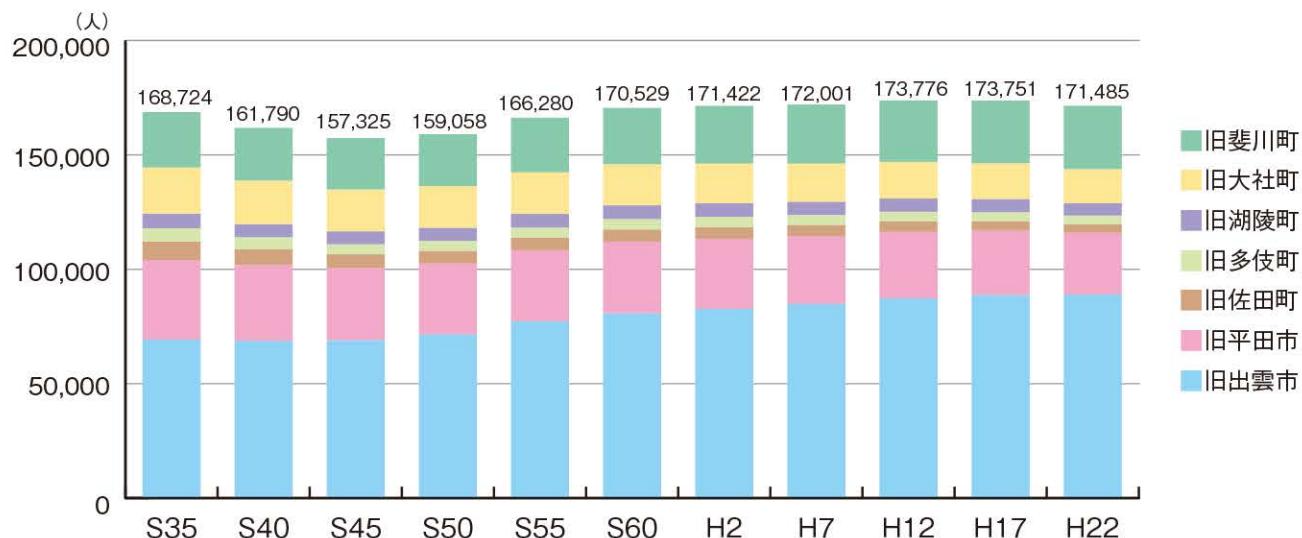
個別計画の名称	策定年月	開始年度	終了年度	計画の概要
21世紀出雲の國つくり計画(新市建設計画)	平成16年7月	平成16年度	平成26年度	新出雲市(旧2市4町)における合併後10年間のまちづくりの基本方針、財政計画などを定めた総合的な計画
出雲市・斐川町新市基本計画	平成22年8月	平成22年度	平成32年度	新出雲市(出雲市と旧斐川町)における合併後10年間のまちづくりの基本方針、財政計画などを定めた総合的な計画
出雲市定住自立圏共生ビジョン	平成22年12月 平成23年12月 (一部変更)	平成22年度	平成26年度	広域化した市域を一つの圏域とし、圏域全体の均衡ある発展をめざして策定した定住自立圏構想に基づき、圏域の将来像や具体的取り組みを定めたビジョン
出雲市過疎地域自立促進計画	平成22年9月	平成22年度	平成27年度	過疎地域(佐田・多伎地域)の自立促進をめざし、社会基盤の整備、地域資源を生かした産業振興・雇用対策などを柱とした総合的な計画
出雲市山村振興計画	平成21年3月	平成21年度	平成26年度	佐田地域、鰐淵地区及び田儀地区の経済力の培養と住民福祉の向上等を図ることを目的とする計画

## 統計データ

### 1.人口

#### (1)人口の推移

本市の人口は、平成12年国勢調査まで増加傾向で推移していましたが、平成17年調査で微減に転じ、平成22年の国勢調査において171,485人となり、前回調査から2,266人減少しています。一方、世帯数は55,952世帯で増加の一途であり、一世帯当たりの人員は減少しています。



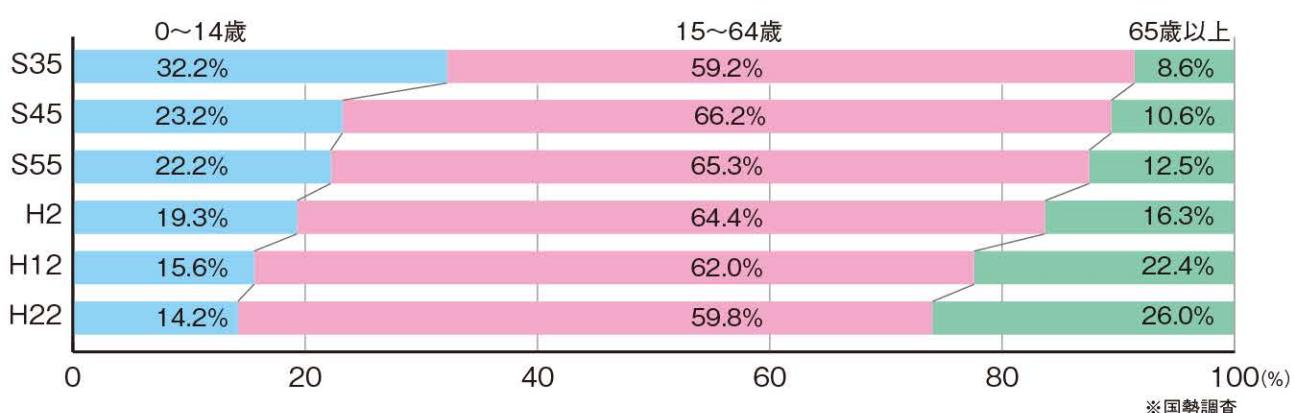
	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
旧斐川町	24,207	23,014	22,384	22,744	23,829	24,592	25,221	25,787	26,816	27,444	27,689
旧大社町	20,181	19,021	18,350	18,167	18,203	17,970	17,284	16,683	16,020	15,581	14,916
旧湖陵町	6,396	5,662	5,618	5,707	5,951	6,044	5,981	5,779	5,813	5,732	5,369
旧多伎町	5,772	5,199	4,424	4,330	4,498	4,543	4,436	4,321	4,215	3,905	3,767
旧佐田町	8,150	7,001	5,911	5,600	5,429	5,316	5,189	4,870	4,576	4,213	3,816
旧平田市	34,799	33,128	31,560	30,942	31,067	31,315	30,632	29,707	29,006	28,071	26,908
旧出雲市	69,219	68,765	69,078	71,568	77,303	80,749	82,679	84,854	87,330	88,805	89,020
合計	168,724	161,790	157,325	159,058	166,280	170,529	171,422	172,001	173,776	173,751	171,485
世帯数	33,499	35,175	36,800	38,960	41,635	44,696	46,152	48,637	52,661	54,828	55,952

(単位:人、世帯)

※国勢調査

#### (2)年齢区分別人口割合の推移

年齢別の構成比は、昭和35年と平成22年を比較すると、14歳以下の年少人口割合が32.2%から14.2%と半減以下となりました。15歳から64歳までの生産年齢人口割合は59.2%から59.8%へと横ばい、65歳以上の高齢者人口割合は、8.6%から26.0%と3倍に増加しており、少子高齢化が進行しています。

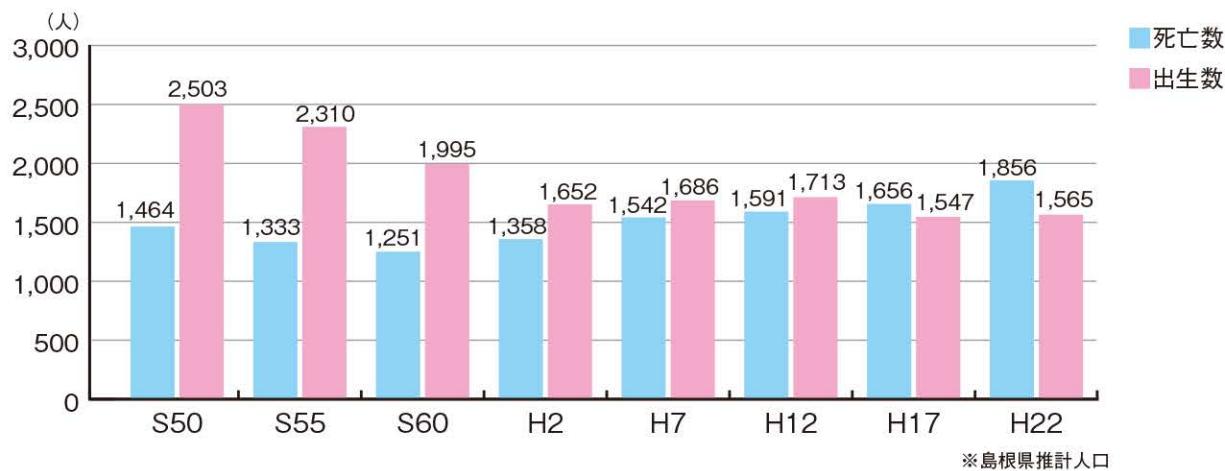


※国勢調査

### (3) 人口動態

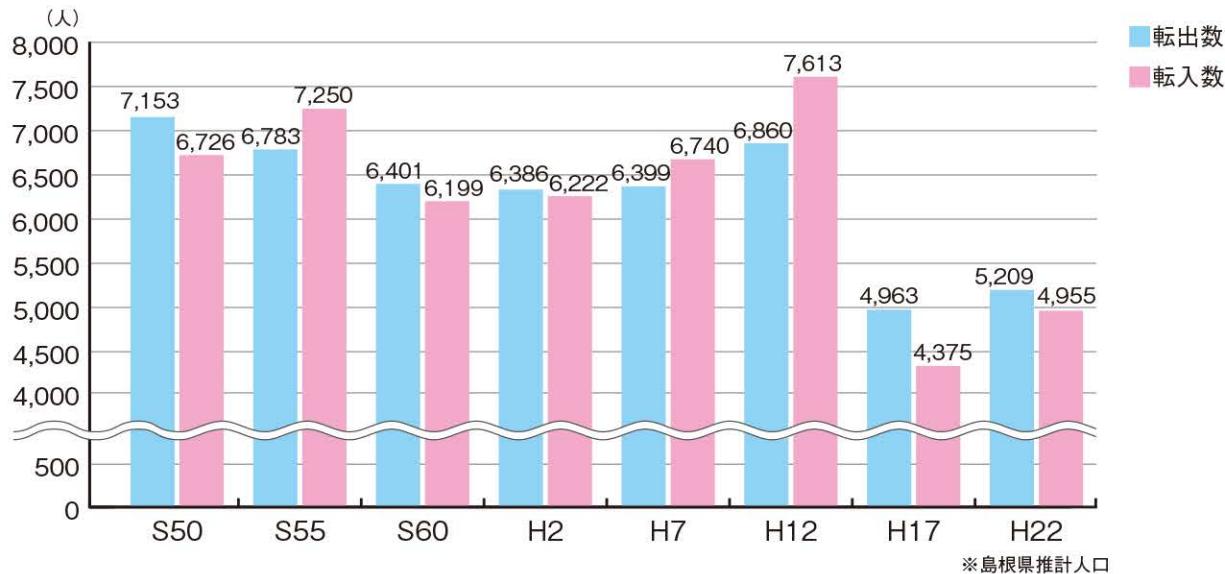
#### ■自然動態

出生数が年々減少しているのに対し、死亡数は増加傾向にあります。その結果、近年は死亡数が出生数を上回り、自然動態は減少となっています。



#### ■社会動態

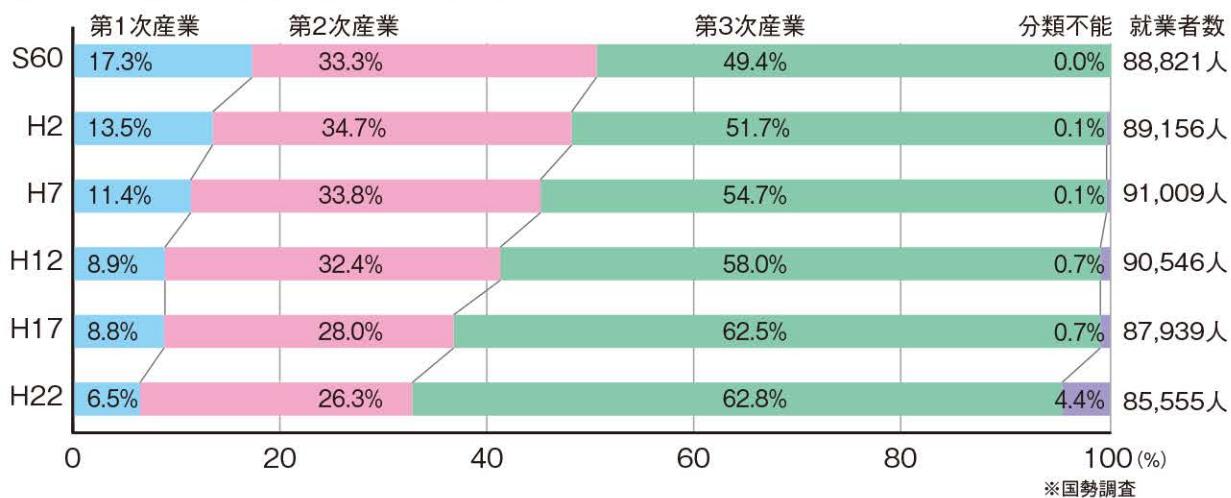
転出数と転入数は年によってバラつきがありますが、転出数と転入数が概ね均衡した状況となっています。



## 2. 産業構造

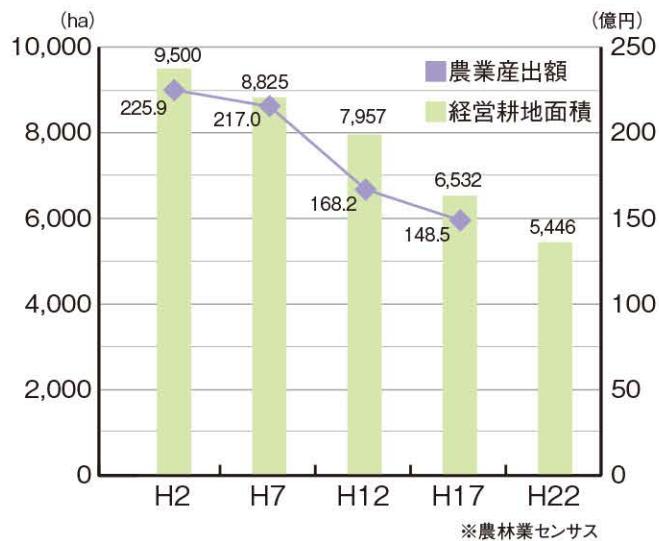
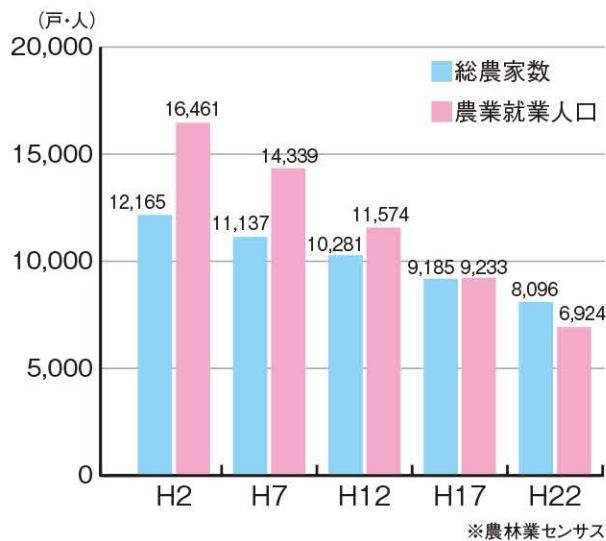
昭和60年から平成22年までの25年間で、第1次産業就業者割合は半減以下になりました。第2次産業も減少しており、第3次産業は第1次産業、第2次産業で減少した就業者割合を吸収する形で増加しています。

### (1) 産業別就業人口(15歳以上)



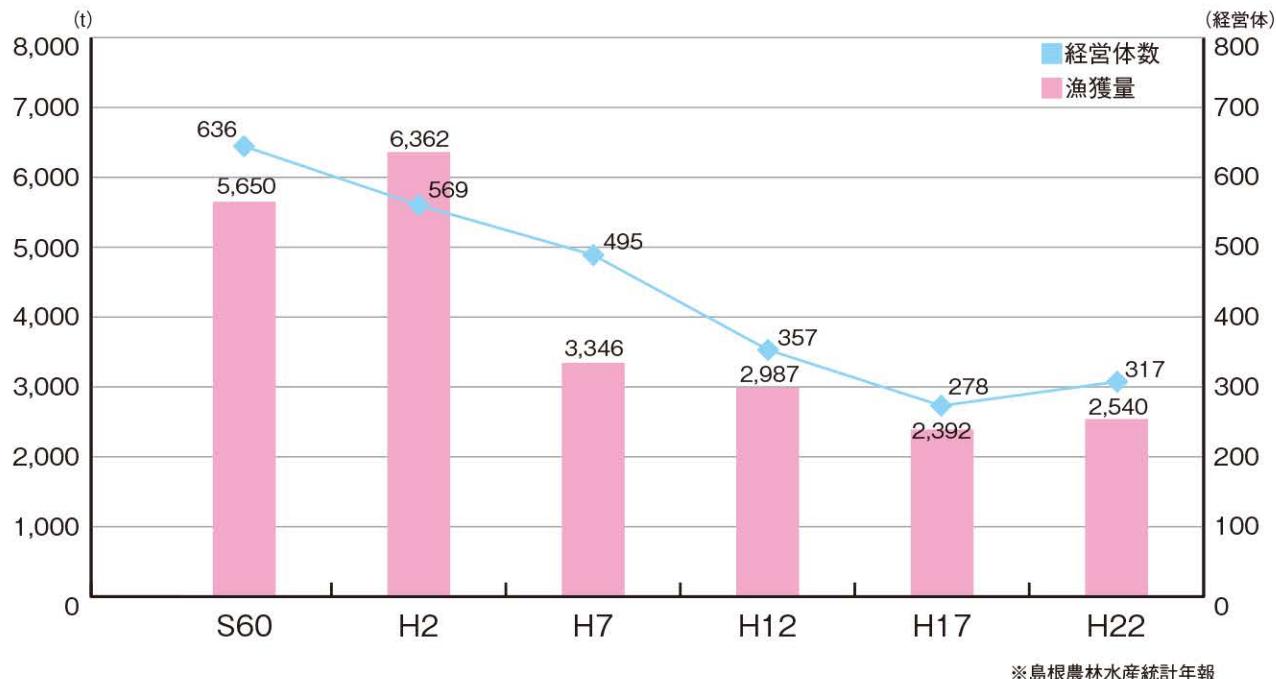
## (2) 農業

総農家数は平成2年と平成22年を比べると3割強減少し、それにあわせ農業就業人口は半減以下となっています。また、農業産出額、経営耕地面積ともに大きく減少しており、担い手不足に伴う宅地化や耕作放棄地の拡大が原因と考えられます。



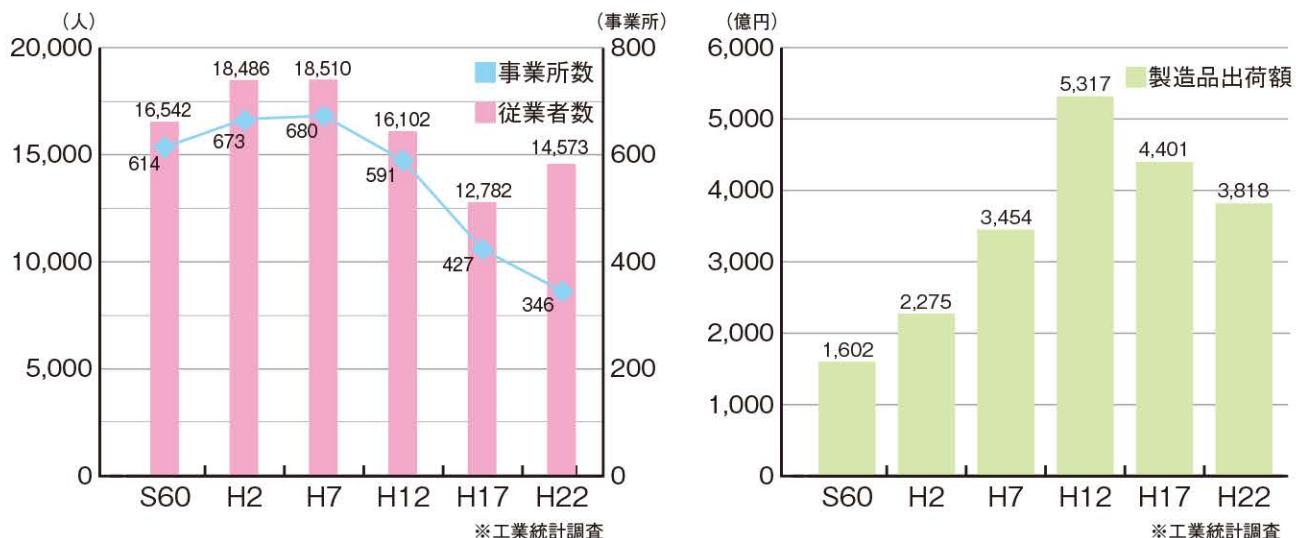
## (3) 漁業

漁業経営体数は、減少の一途をたどっており、平成22年に若干の増加に転じましたが、依然担い手不足の状況にあります。漁獲量も平成2年をピークに減少しています。



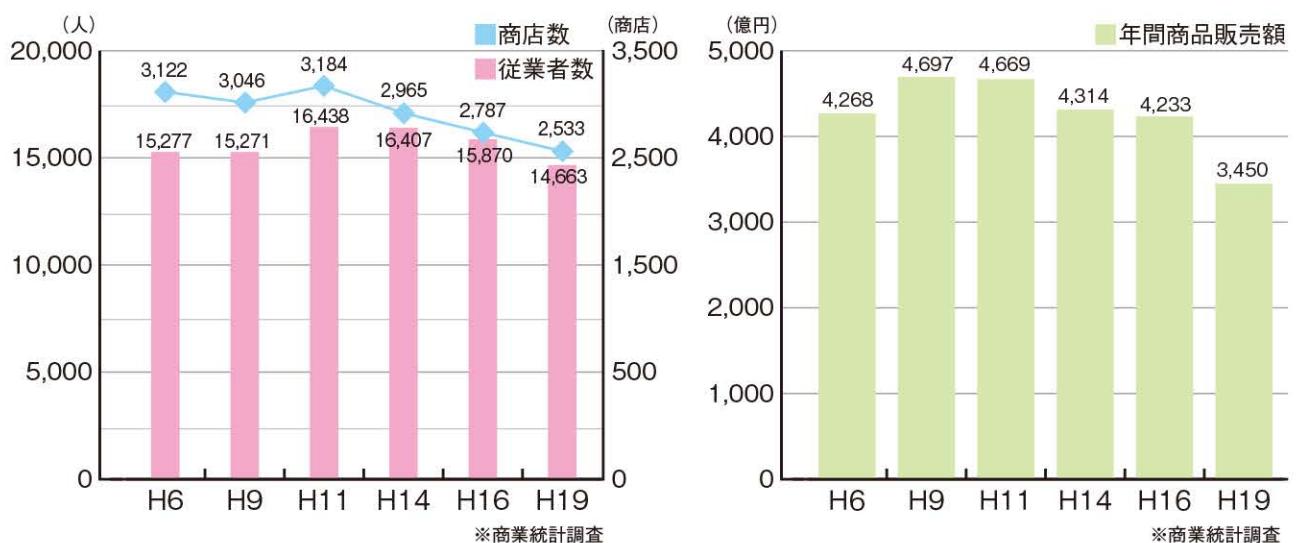
## (4) 工業(従業者数4人以上の製造業)

事業所数は、平成7年以降減少し15年間で半減しています。従業者数も平成7年以降減少していますが、平成22年には若干回復しています。製造品出荷額は平成12年をピークに減少傾向にあります。



## (5) 商業

商店数、従業者数ともに平成11年以降減少傾向で推移しています。年間商品販売額は、ほぼ横ばいで推移していましたが、平成19年に大きく減少しています。



## 諮詢書・答申書

### ■諮詢書

出雲市総合計画審議会  
会長 江田小鷹様

政策第105号  
平成24年(2012)6月26日

出雲市長 長岡秀人  
(総合政策部政策企画課)

#### 新たな出雲市総合振興計画(仮称)について(諮詢)

平成23年10月1日の斐川町との合併により、共通の歴史と文化を持つ人口17万5千人の「新出雲市」が誕生し、これから10年間のまちづくりの方向性と将来像を描く新たな出雲市総合振興計画(仮称)を策定するにあたり、貴会の意見を求めます。

### ■答申書

出雲市長 長岡秀人様

平成24年(2012)11月12日

出雲市総合計画審議会  
会長 江田小鷹

#### 新たな出雲市総合振興計画(仮称)について(答申)

平成24年6月26日、当審議会に対し意見を求められた新たな総合振興計画(仮称)について、別添のとおり答申します。

# 新たな出雲市総合振興計画「出雲未来図」策定経過

## ■策定経過

平成24年度

6月 5日～20日…市民満足度調査の実施

6月22日…第1回出雲市総合計画推進本部

(計画推進体制、スケジュール等の検討、ワーキンググループの設置)

6月26日…第1回出雲市総合計画審議会

(審議会委員委嘱、会長・副会長選出、諮問、審議事項・スケジュール確認)

7月13日…第1回出雲市総合計画推進本部ワーキンググループ会議

(新たな出雲市総合振興計画の構成、施策体系の検討)

7月～8月…出雲市のまちづくりに関する高校生アンケートの実施

8月 8日…第2回出雲市総合計画審議会

(新たな出雲市総合振興計画の構成、施策体系、戦略プロジェクトの検討)

8月28日…第3回出雲市総合計画審議会(新たな出雲市総合振興計画(素案)の審議)

9月14日…第2回出雲市総合計画推進本部(新たな出雲市総合振興計画(素案)の検討)

第2回出雲市総合計画推進本部ワーキンググループ会議

(新たな出雲市総合振興計画(素案)の検討)

9月27日…議会全員協議会へ新たな出雲市総合振興計画(素案)の報告

10月16日…第4回出雲市総合計画推進本部(新たな出雲市総合振興計画(素案)の審議)

10月31日…第5回出雲市総合計画推進本部(新たな出雲市総合振興計画(素案)の審議)

11月 2日…第3回出雲市総合計画推進本部(新たな出雲市総合振興計画(素案)の検討)

11月12日…答申

## ■出雲市地域自治区の設置に関する条例に基づく地域協議会意見の聴取

10月 2日…平田地域協議会 10月 3日…多伎地域協議会

10月 4日…大社地域協議会 10月 9日…出雲地域協議会

10月10日…湖陵地域協議会 10月12日…佐田地域協議会・斐川地域協議会

## ■地域説明会の開催

10月 3日…出雲市コミュニティセンター長会

10月11日…出雲市自治会連合会

10月15日…出雲市公民館長会(斐川地域)

## ■パブリックコメントの実施

9月27日～10月18日

〔 意見の提出者数……………22人  
意見数……………54件 〕

## ■出雲市総合計画審議会委員名簿

(敬称略 30名)

委員名	区分	組織・役職等
会長 江田 小鷹	商工業	出雲商工会議所会頭、出雲地域協議会副会長、元出雲市・斐川町合併協議会委員
副会長 岡 名誉	地域協議会	平田地域協議会会长、久多美地区自治協会会长

(以下 五十音順)

石飛 なす子	健康・福祉	出雲市食生活改善推進協議会多伎支部長、多伎地域協議会副会長
石川 昭弘	公募	公募委員
板木 正久	子育て	出雲市保育協議会会长、出雲地域協議会委員
今岡 一朗	観光・スポーツ	出雲観光協会会长、出雲市体育協会会长
今岡 久美子	市民学習、女性	湖陵まちづくり女性の会代表、出雲市行政改革推進委員会委員、湖陵地域協議会委員
遠藤 充子	芸術文化	出雲市芸術文化振興会議会長、いつも力ナダ友好協会会长
落合 孝悦	漁業	漁業協同組合JFしまね大社支所長
勝部 勝明	地域協議会	旧斐川町長、斐川地域協議会会长、元出雲市・斐川町合併協議会副会長
川瀬 英	健康・福祉	出雲市社会福祉協議会事務局長、平田地域協議会委員
久家 明子	商工業	平田商工会議所女性会、YOSHIO靴工房経営者
倉塚 香織	公募	公募委員
塩飽 邦憲	健康・福祉・医療	島根大学副学長、出雲市介護保険運営協議会会长
杉原 成也	ブランド	(株)マース、海士町まちづくりコーディネーター、出雲ブランド化推進市民委員会委員
須田 日出男	NPO	NPO法人社会工学研究所理事長、斐川地域協議会副会長、元出雲市・斐川町合併協議会委員
周藤 昌夫	農業	斐川町農業協同組合代表理事組合長、斐川地域協議会委員、元出雲市・斐川町合併協議会委員
手錢 白三郎	林業	出雲地区森林組合代表理事組合長
長廻 利行	議会	出雲市議会副議長
成瀬 公平	公募	公募委員
錦織 文子	環境	環境を考える女性の会会長、出雲地域協議会委員
西森 大志	Iターン	株式会社ナナイロ代表、Iターン者
三島 一男	青年	出雲青年会議所理事長
宮本 享	議会	出雲市議会議長
山崎 順子	ボランティア	鳴巣コミュニティセンターチーフマネジャー、島根県青少年育成アドバイザー
米原 稔	農業	いつも農業協同組合代表理事組合長、出雲地域協議会副会長
渡部 美知子	学校教育	元出雲市教育委員、元出雲市・斐川町合併協議会委員
渡部 洋子	人権	出雲市人権擁護委員
渡部 良治	芸術文化、NPO	佐田町文化協会会长、島根県文化団体連合会理事、特定非営利活動法人スサノオの風会長
和田 昭男	自治会	出雲市自治会連合会会长(平成24年7月3日から)、多伎地域協議会委員、田儀地区連合自治会代表
前任 伊藤 國昭	自治会	出雲市自治会連合会会长(平成24年7月2日まで)、佐田地域協議会委員、佐津目振興協議会会长

## ■出雲市総合計画推進本部名簿

役職	氏名	所属等
本部長	長岡秀人	市長
副本部長	黒目俊策	副市長
副本部長	堺田輝也	副市長
委員	中尾一彦	教育長
委員	伊藤功	総合政策部長
委員	吉井貴史	総務部長
委員	楳野信幸	財政部長
委員	板倉優	健康福祉部長
委員	井上明夫	文化環境部長
委員	児玉俊雄	産業観光部長
委員	岸和之	都市建設部長
委員	林誠治	上下水道局長
委員	中島薰	教育部長
委員	森山靖夫	防災安全管理監
委員	曾田俊彦	地域振興調整監
委員	板倉勝巳	環境政策調整監
委員	持田純二	農林水産調整監
委員	鎌田靖志	都市計画調整監
委員	持田幹男	会計管理者
委員	板垣祐治	消防長
委員	吾郷一郎	総合医療センター事務局長
委員	妹尾克彦	議会事務局長
委員	後藤政司	監査事務局長
委員	郷原良明	平田支所長
委員	糸賀元次	佐田支所長
委員	青木直	多伎支所長
委員	寺本稔	湖陵支所長
委員	坂本隆	大社支所長
委員	高田茂明	斐川支所長

## ■出雲市総合計画策定ワーキンググループ名簿

部(局)・支所名	課名	役職	氏名
総合政策部	政策企画課	主任	加村光夫
総務部	総務課	係長	岡利行
財政部	財政課	係長	三成敏幸
健康福祉部	福祉推進課	係長	木村知弘
文化環境部	市民活動支援課	係長	勝部和世
産業観光部	産業振興課	課長補佐	三上幹孝
建設事業部	建設企画課	課長補佐	田中啓介
上下水道局	下水道管理課	課長補佐	飯塚禎司
教育部	教育政策課	課長	長見康弘
平田支所	地域振興課	課長補佐	高砂俊英
佐田支所	地域振興課	課長補佐	和田貢
多伎支所	地域振興課	課長補佐	藤井操
湖陵支所	地域振興課	課長補佐	遠藤良治
大社支所	地域振興課	課長補佐	林俊樹
斐川支所	地域振興課	課長補佐	高木正巳

## ■事務局

役職	氏名
総合政策部長	伊藤功
総合政策部次長	高橋直樹
政策企画課主査	橋本孝
係長	古山順
係長	園山博之
主任	加村光夫